

教育セミナー

症例（解説）

症例 41歳女性

【主訴】 検診異常(自覚症状なし)

【現病歴】 検診マンモグラフィで異常を指摘され、
前医を受診

【既往歴】 特記事項なし

【生活歴】 初潮: 14歳、妊娠出産歴:なし

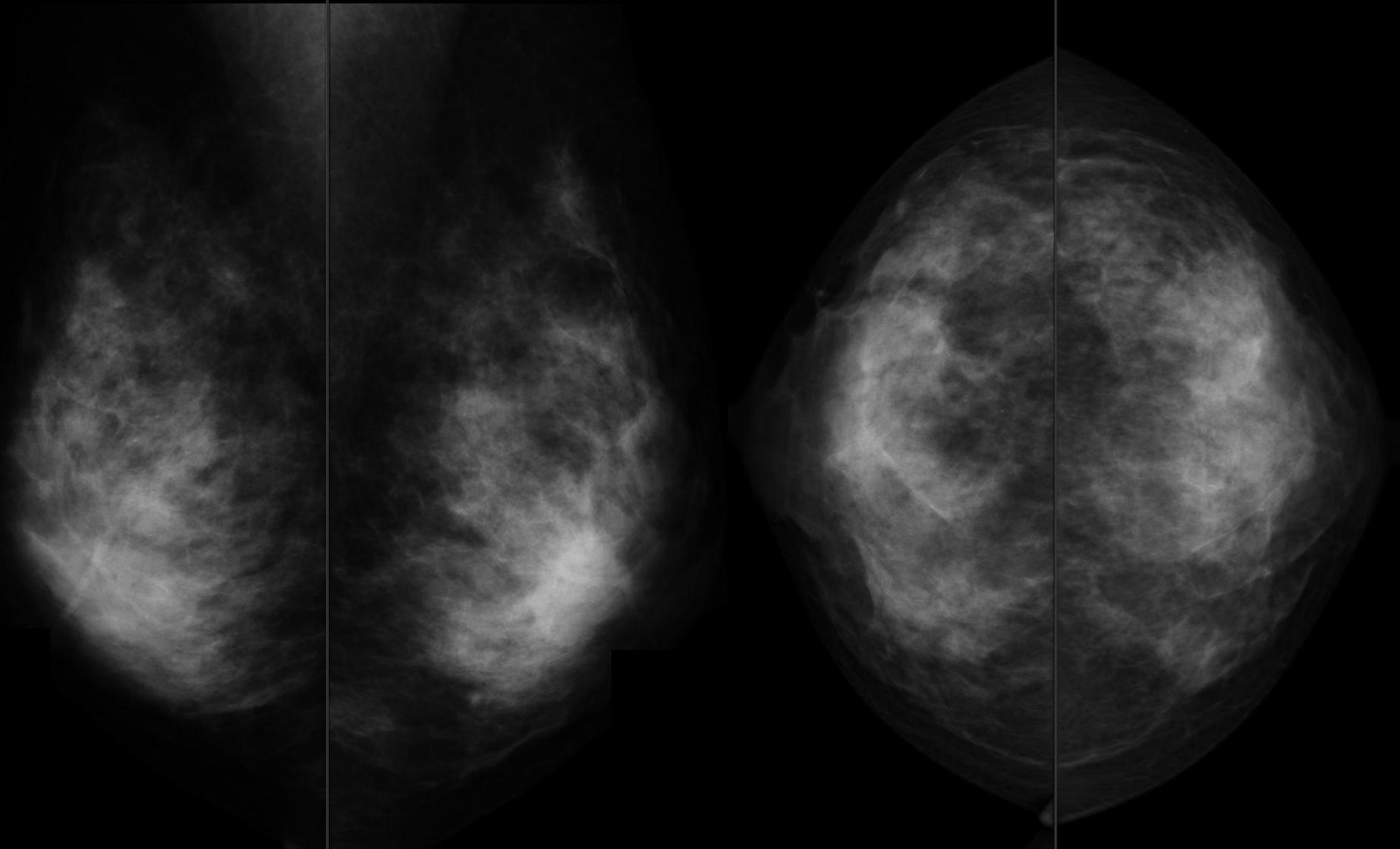
【家族歴】 乳癌(一) 卵巣癌(一)

【身体所見】

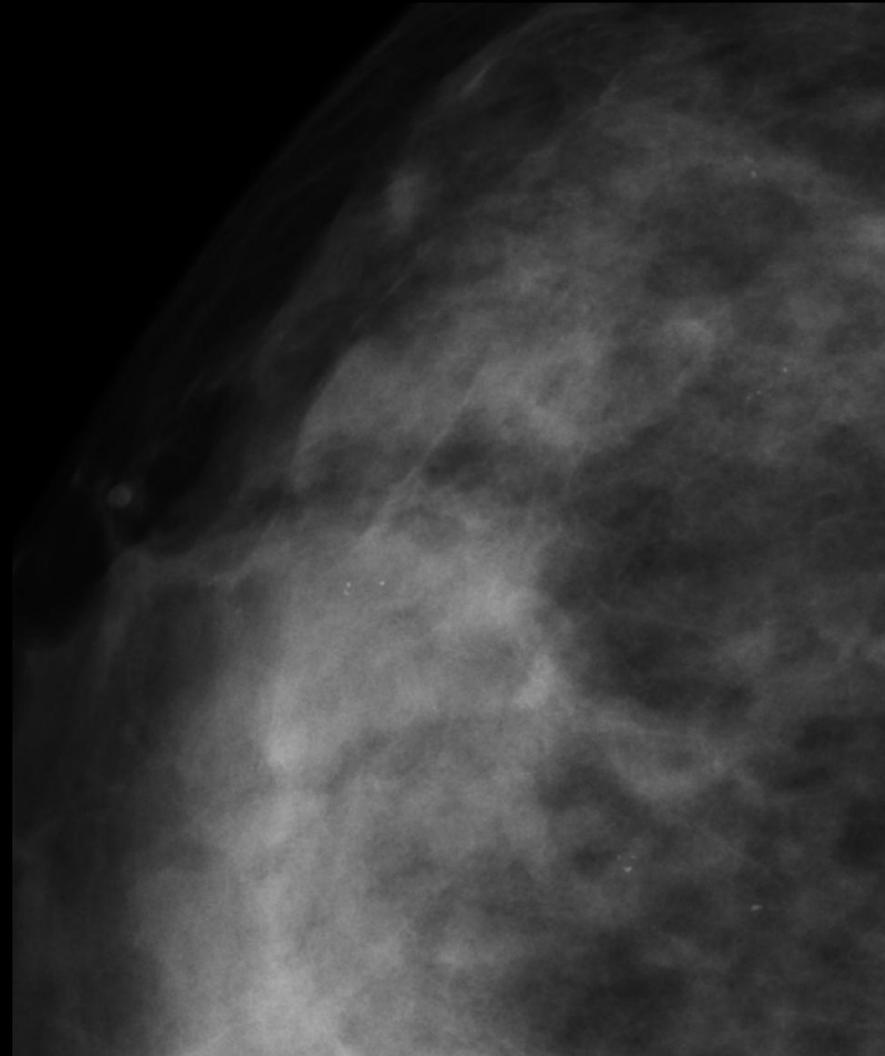
両側とも明らかな腫瘤触知せず

乳頭分泌物(一) 腋窩リンパ節(一)

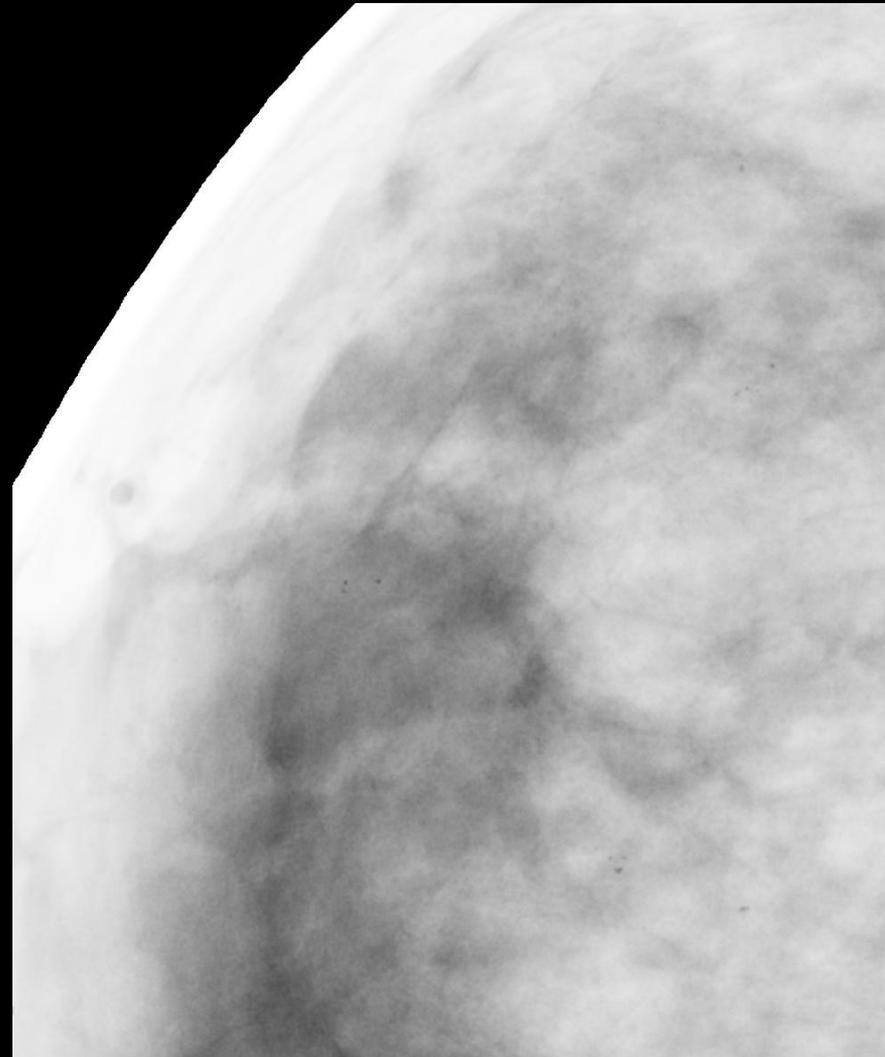
初診時 MLO・CC



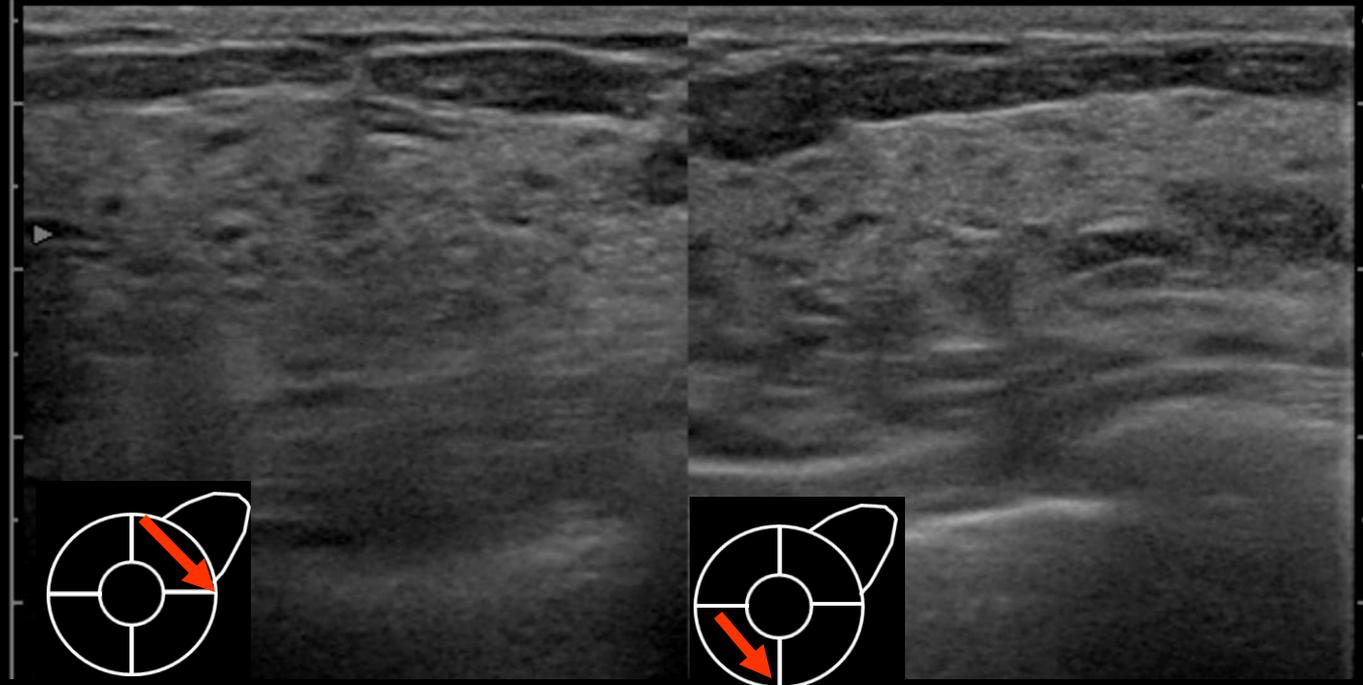
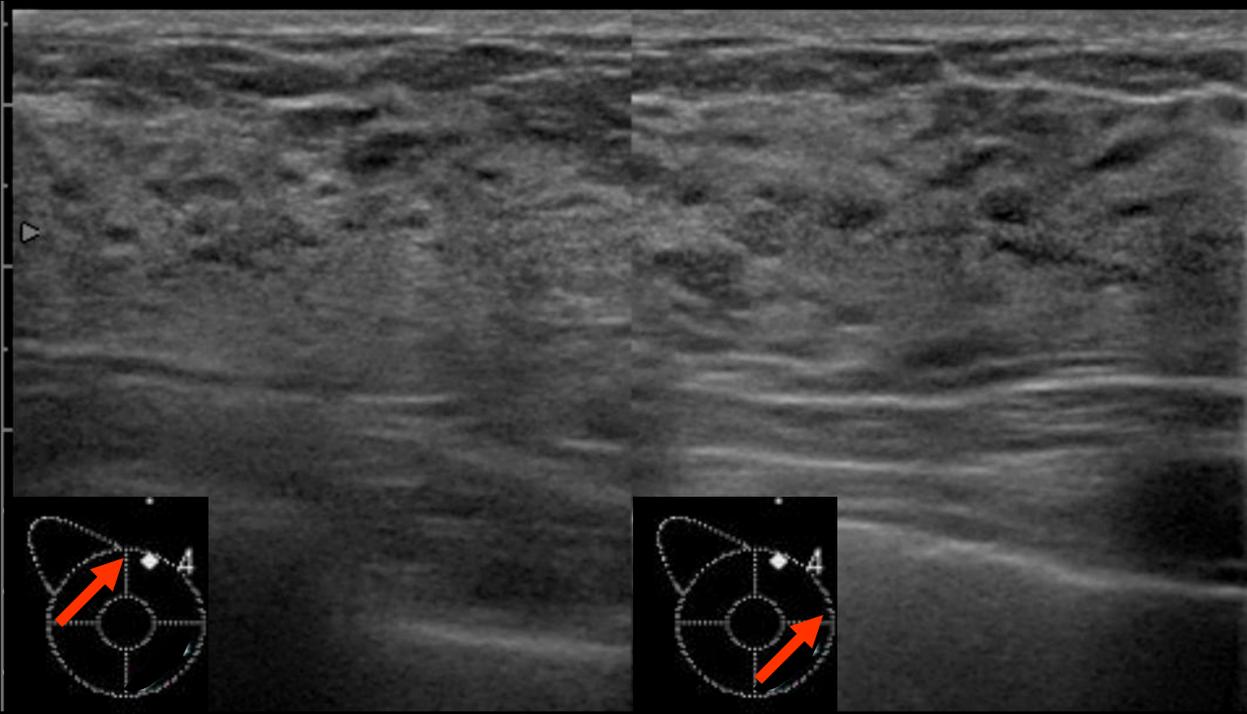
MLO-CC 拡大



MLO-CC 白黒反転



初診時
US



質問事項

1. 画像所見は？

2. 方針は？

① 追加検査をするか

② 経過観察をするか

解 説

1. 画像所見

MMG

- 不均一高濃度乳腺

- 石灰化

部位：右UM/O

形態：淡く不明瞭

分布：散在性？領域性？区域性？

随伴所見：なし

良性よりの所見

- 数が少ない。
- 密度が低い。
- 分布を迷う。
- 石灰化の濃淡や大小不同は明らかでない。
- 石灰化の部位の背景濃度は上昇していない。

悪性よりの所見

- 右UM/Oにしか見られない。

➡ 判定 カテゴリー3

US

異常所見なし

➡ 判定 カテゴリー1

2. 方針

MMG: 悪性を疑う所見に乏しく、良性疾患の可能性が高い

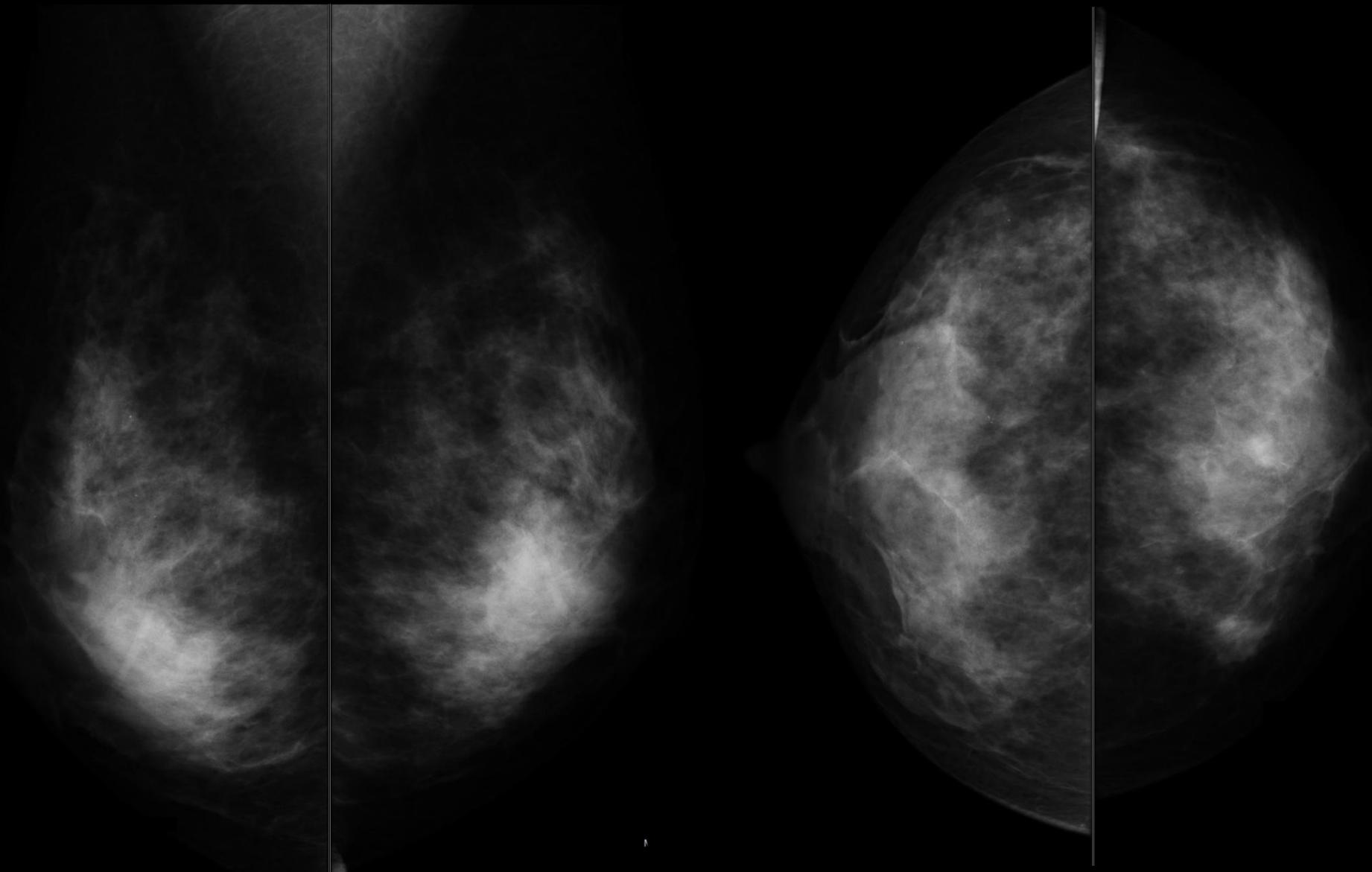
US: 異常所見を認めない

➡ 追加検査を行わず経過観察の方針。
6ヶ月後の再検査とした。

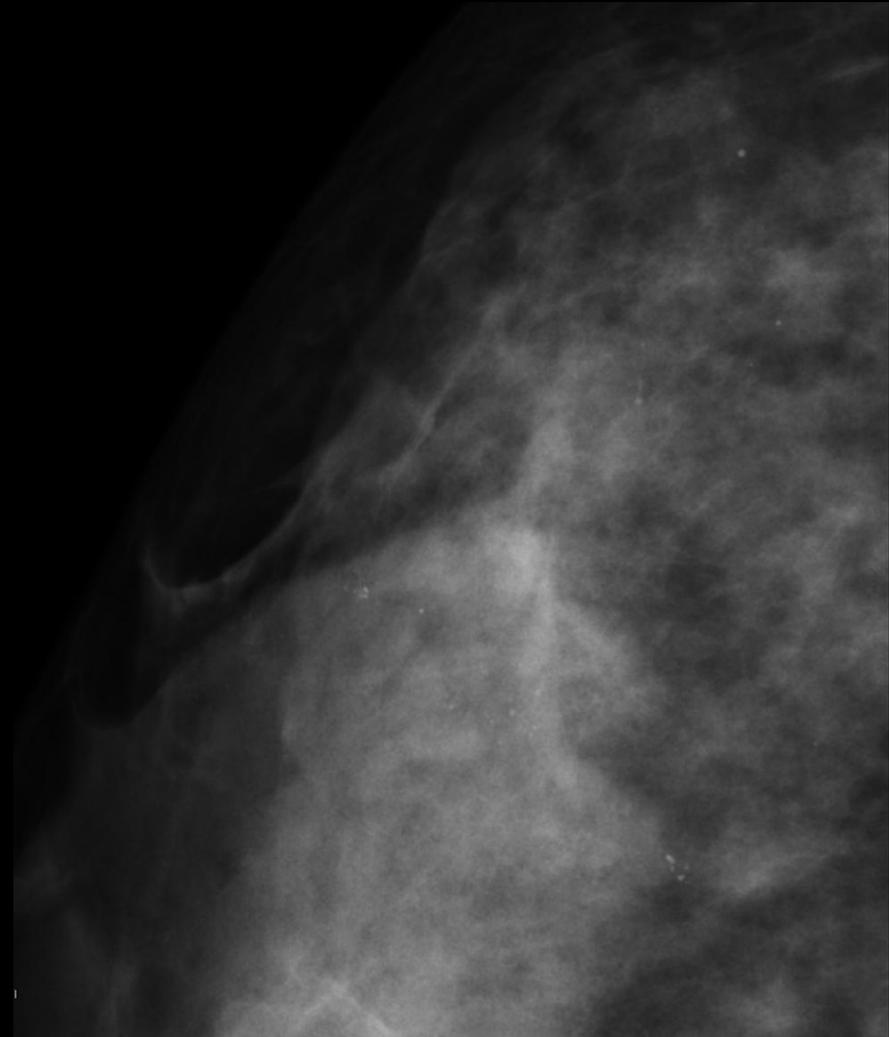
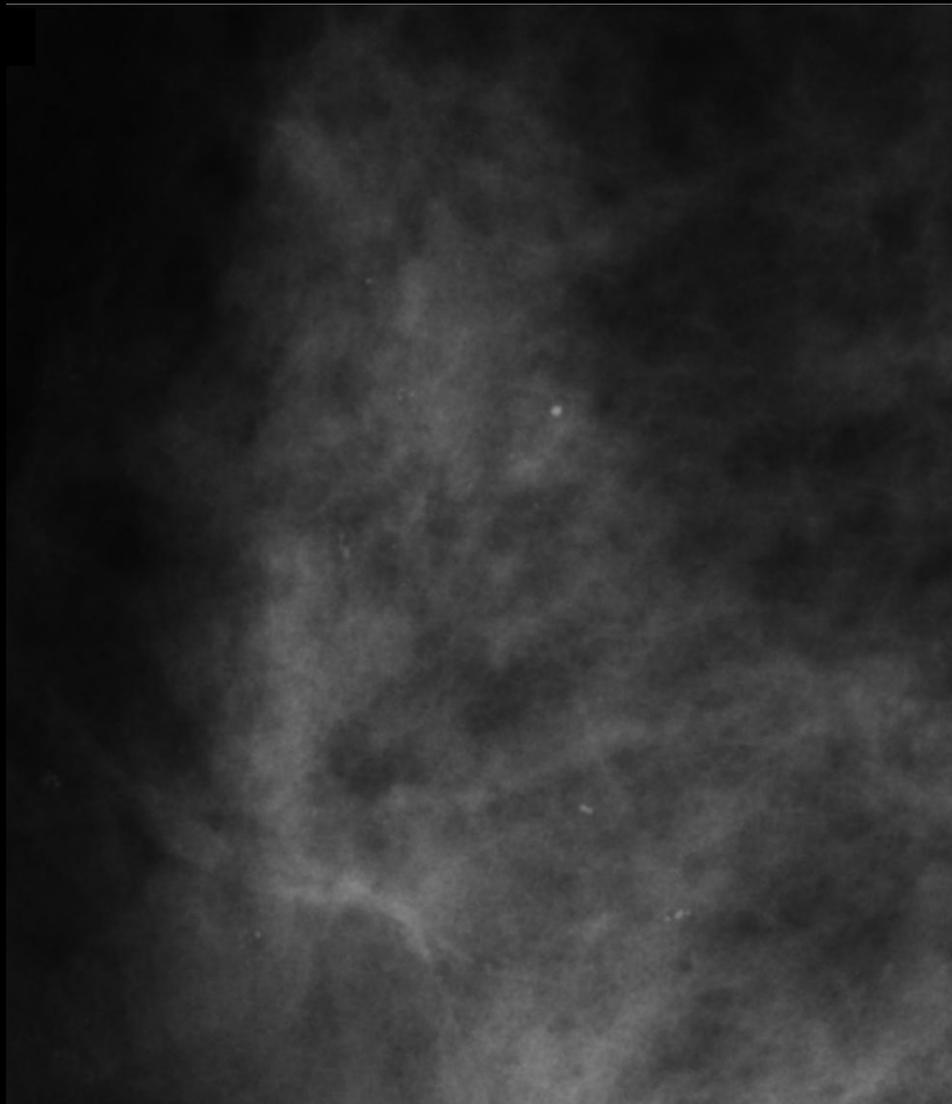
* この時点で追加検査(トモシンセシス、MRI)や組織診を実施する施設もあると考える。

6ヶ月後

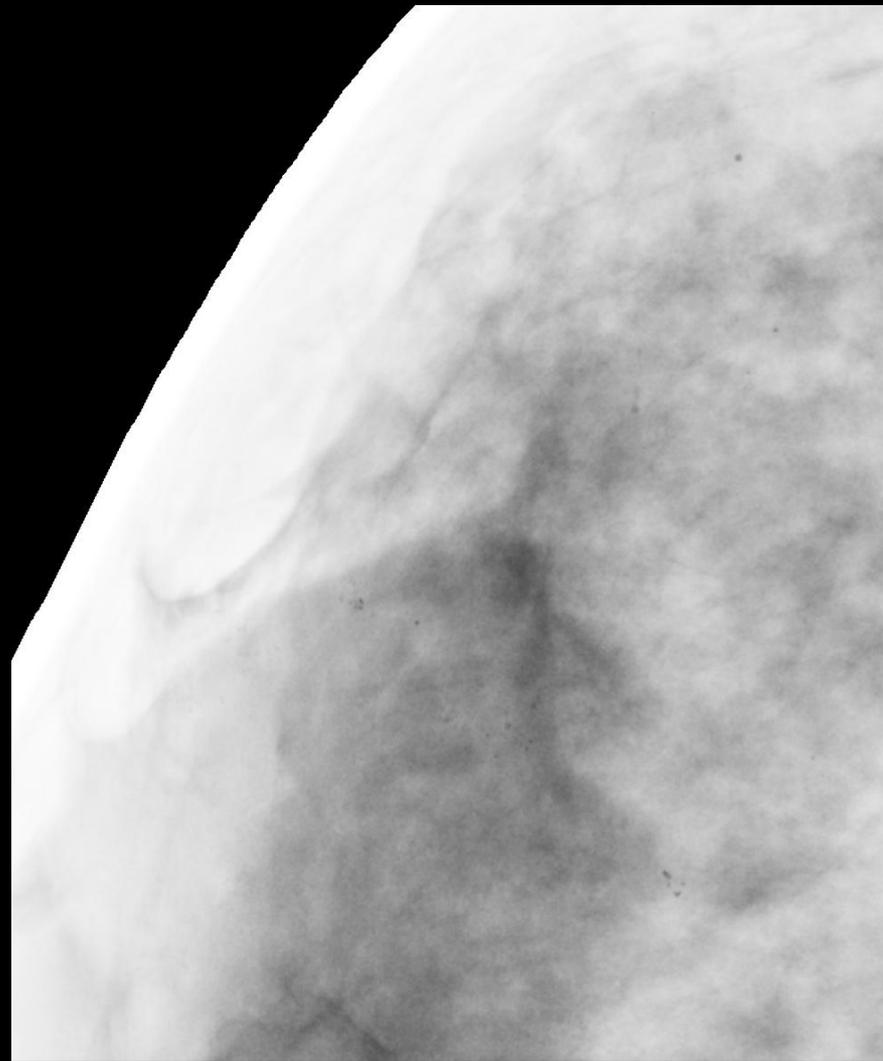
6ヶ月後 MLO・CC



MLO-CC 拡大



MLO-CC 白黒反転



MMG比較(MLO拡大)

初診時

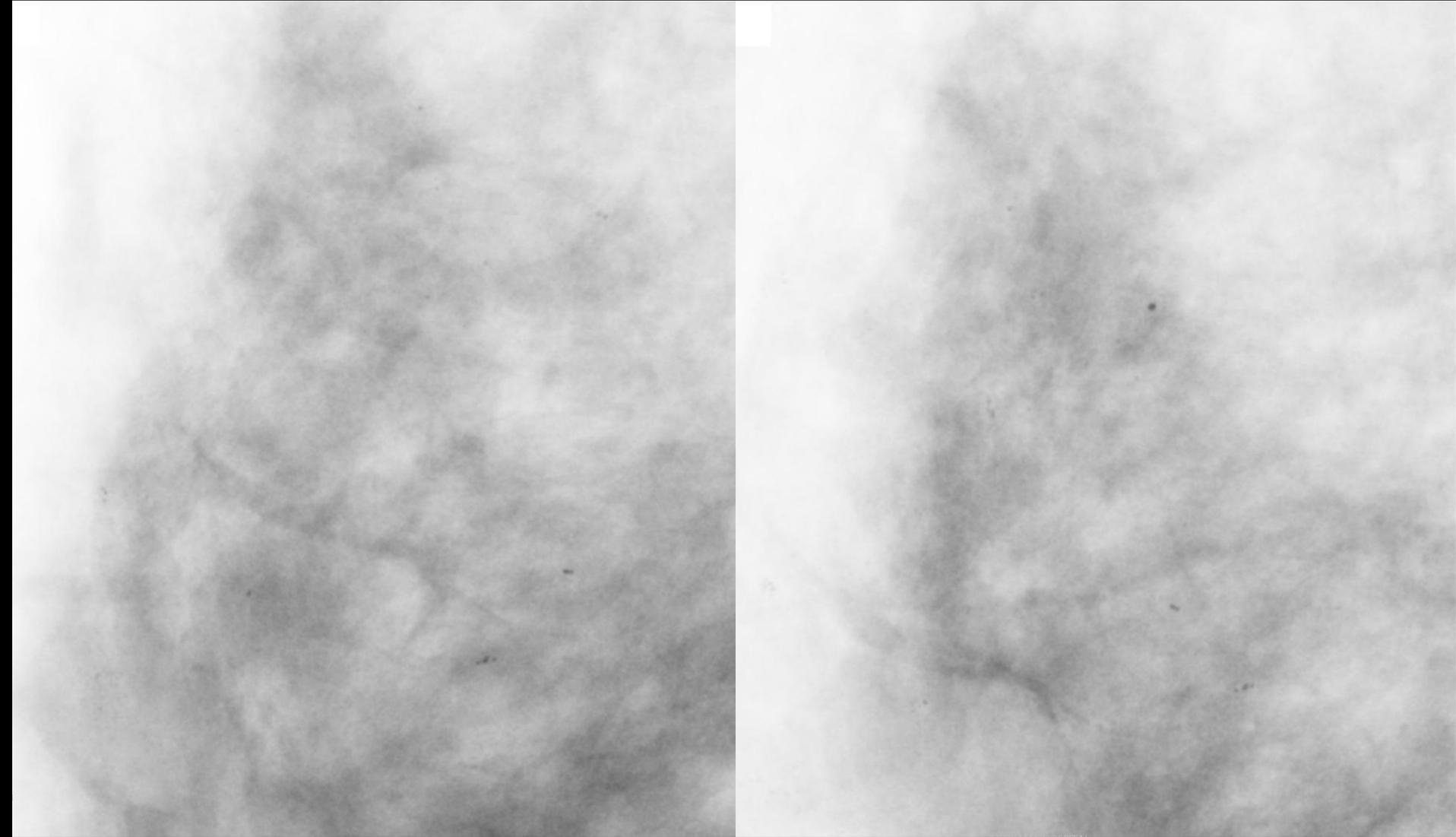
6ヶ月後



MMG比較 (MLO 白黒反転)

初診時

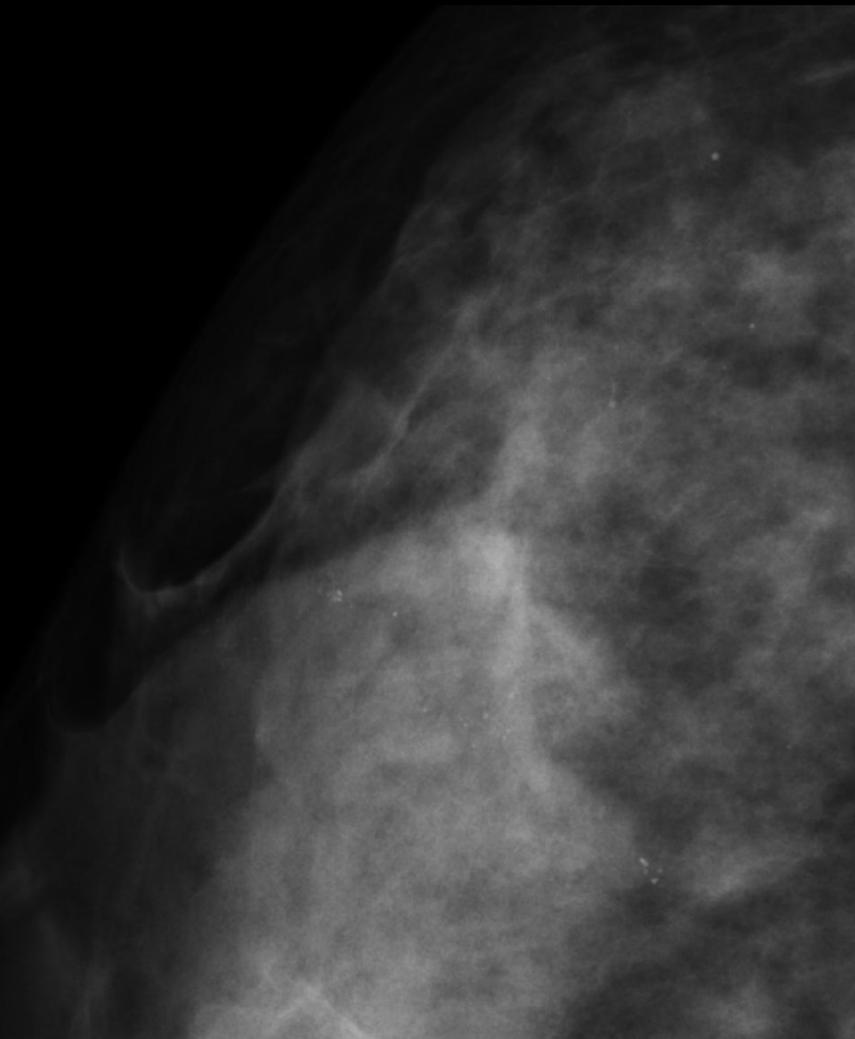
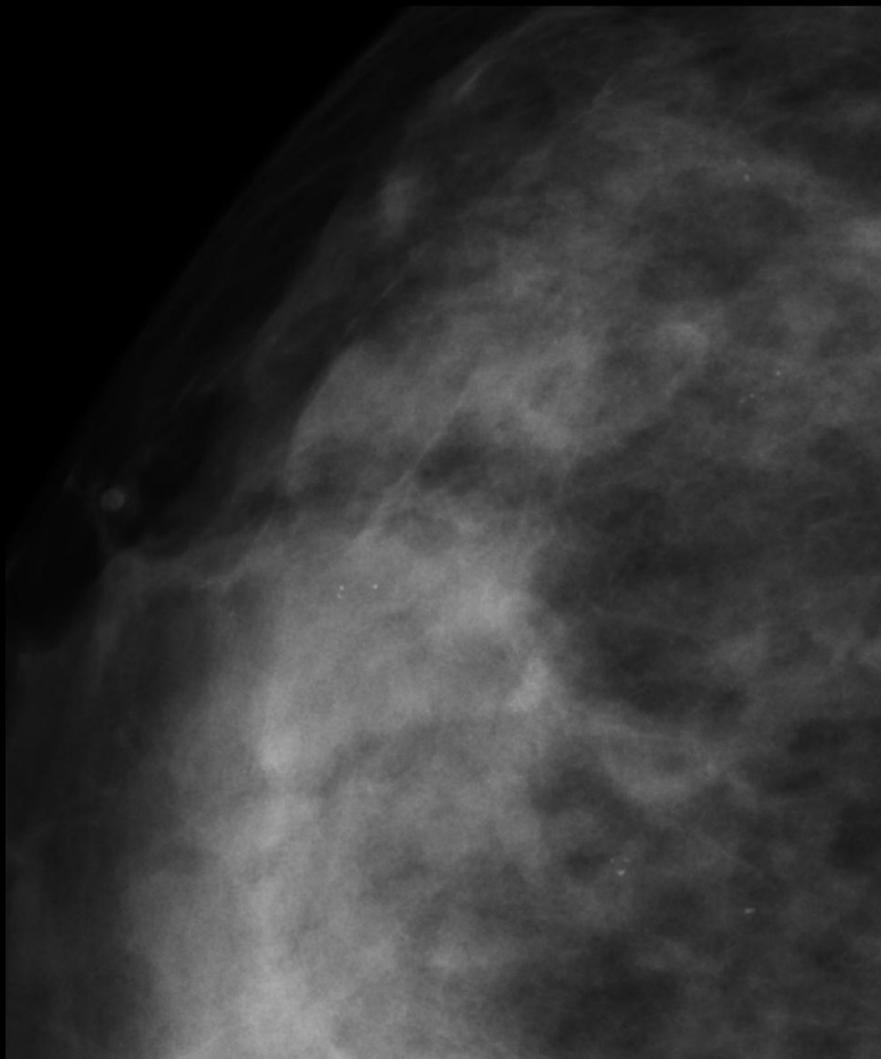
6ヶ月後



MMG比較(CC拡大)

初診時

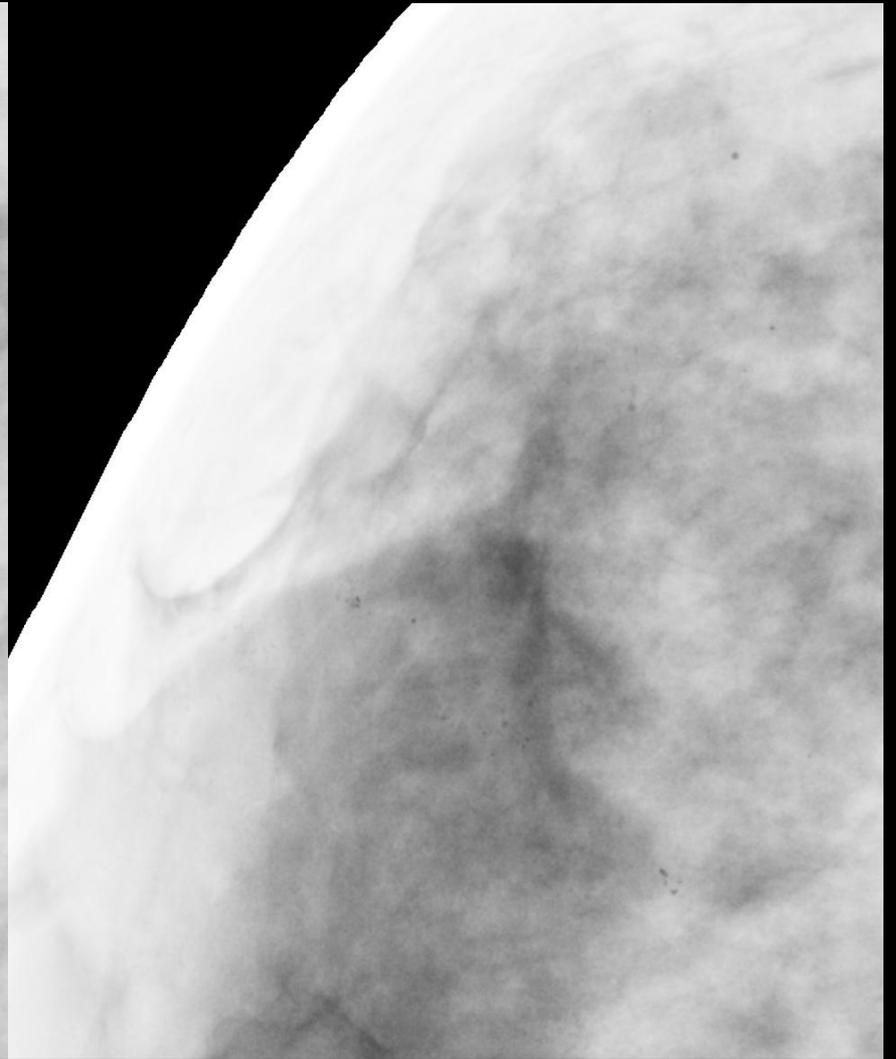
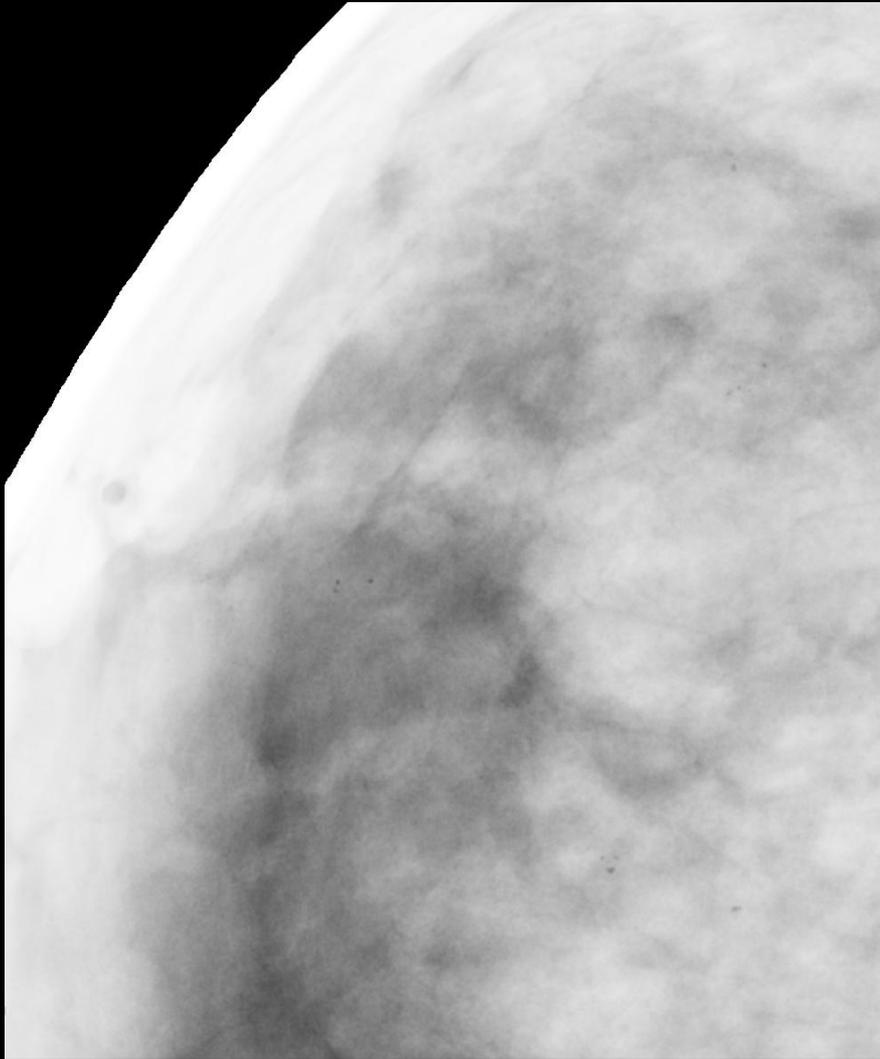
6ヶ月後



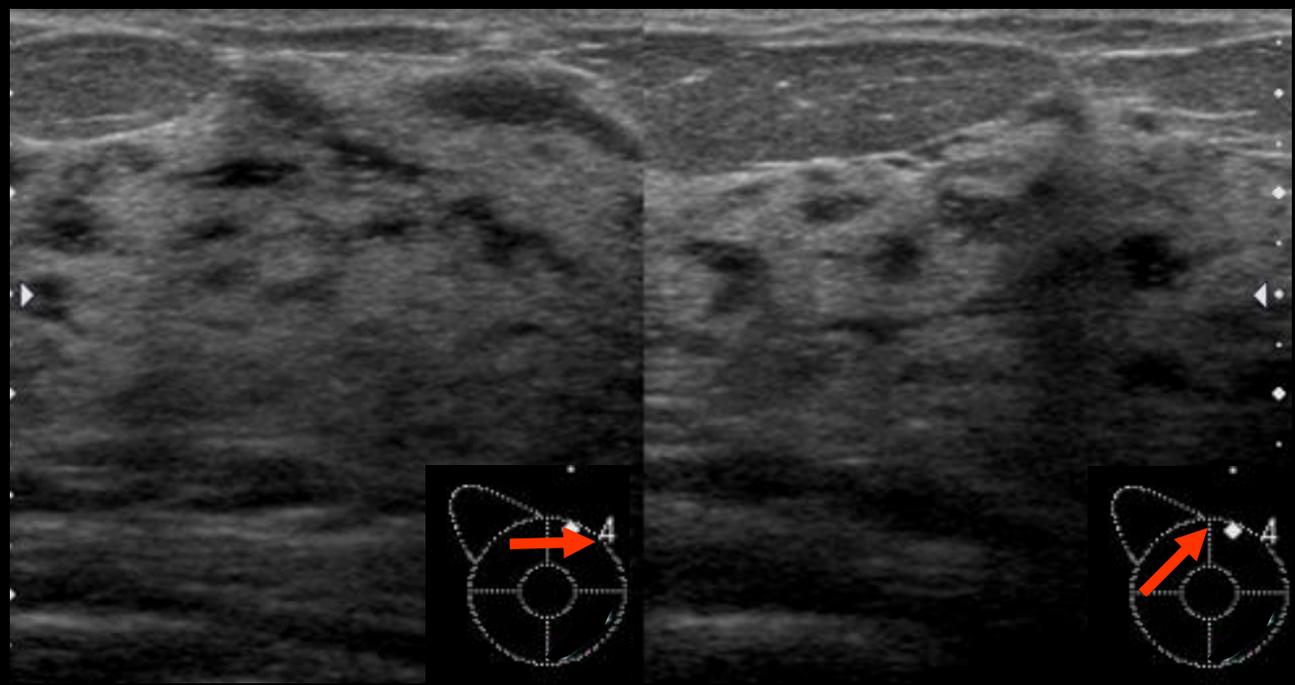
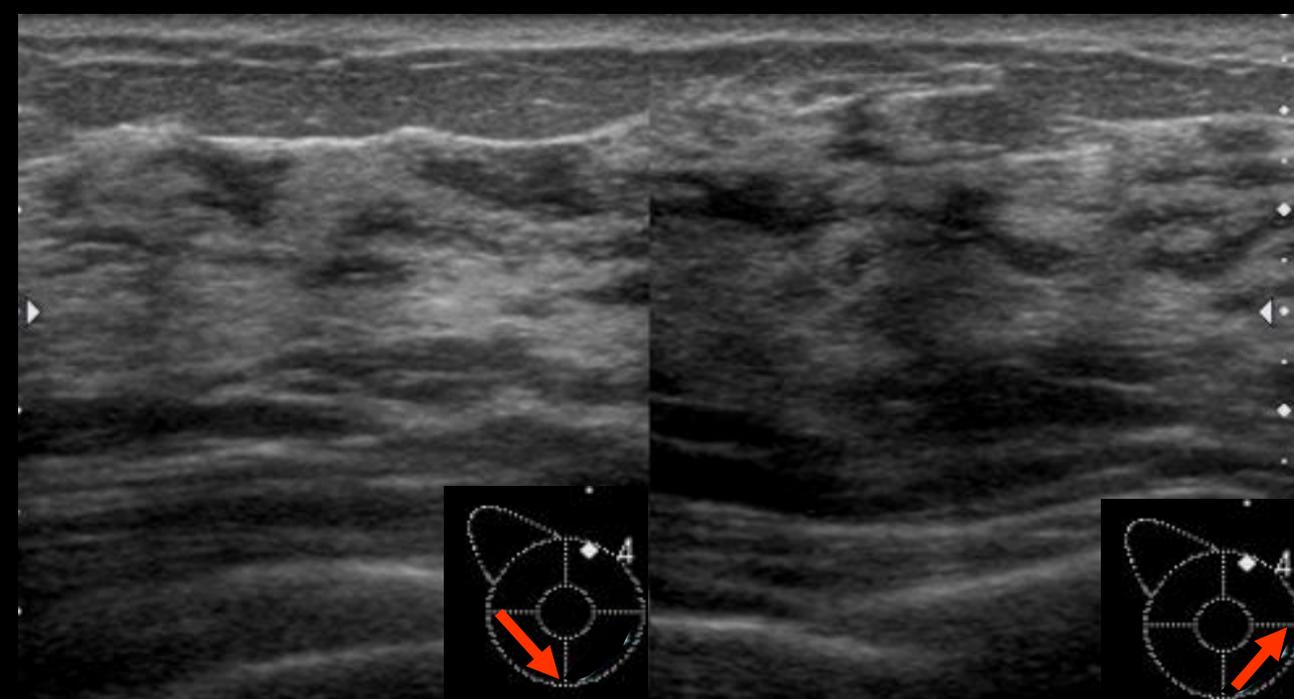
MMG比較(CC白黒反転)

初診時

6ヶ月後



6ヶ月後
US



質問事項

1. 画像所見は？

2. 方針は？

① 追加検査をするか

② 経過観察をするか

解 説

1. 画像所見

MMG

- 不均一高濃度乳腺
- 石灰化
 - 部位：右UM/O
 - 形態：淡く不明瞭
 - 分布：区域性
 - 随伴所見：なし

6ヶ月間の経過観察により、

- 明らかに数が増加
- 密度が高い部位も出現
- 分布も区域性と読影できる所見に変化



判定 カテゴリー4

(非浸潤性乳管癌を強く疑う所見)

US

異常所見なし

➡ 判定 カテゴリー1

2. 方針

MMG: 非浸潤性乳管癌を強く疑う所見

US: 異常所見なし

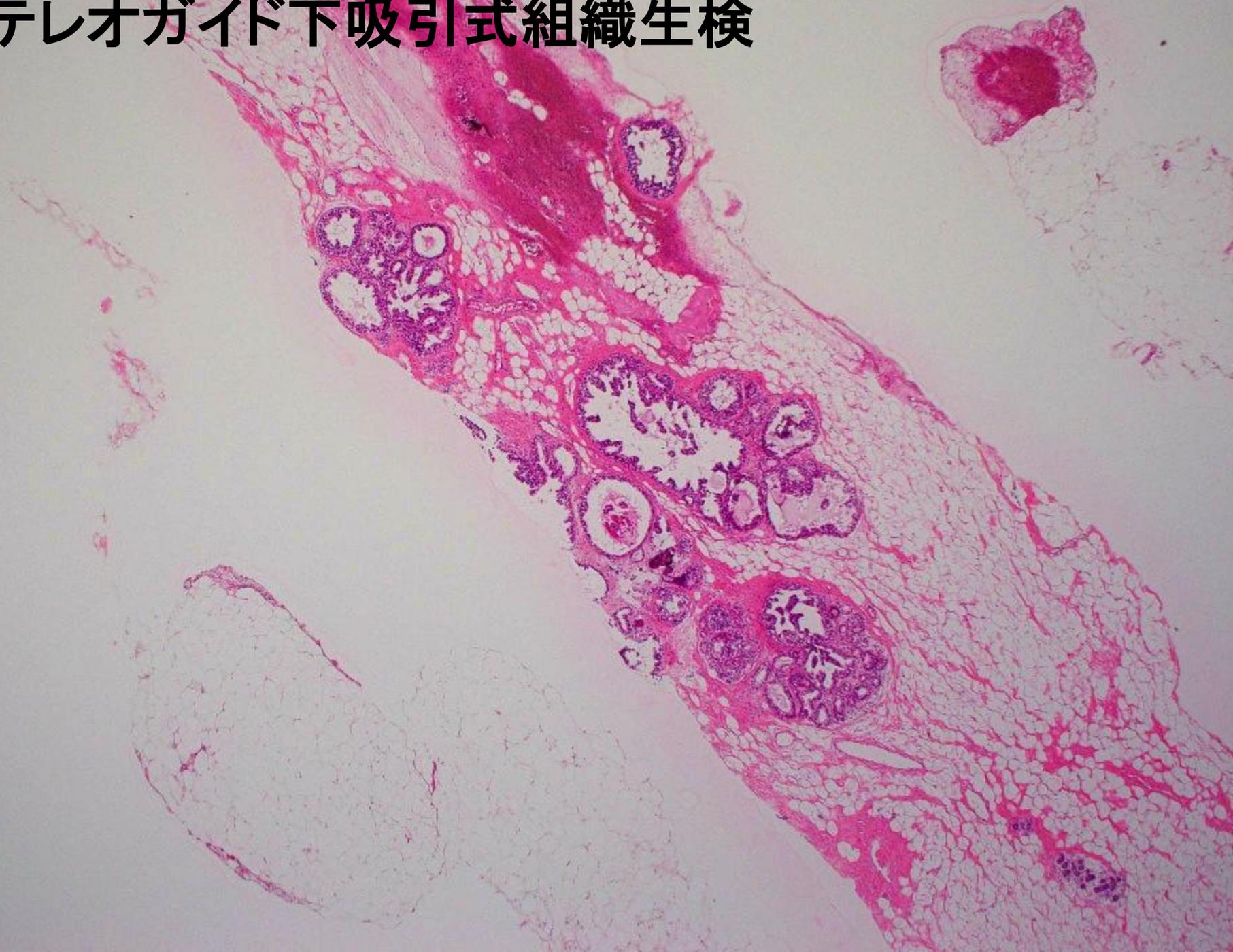


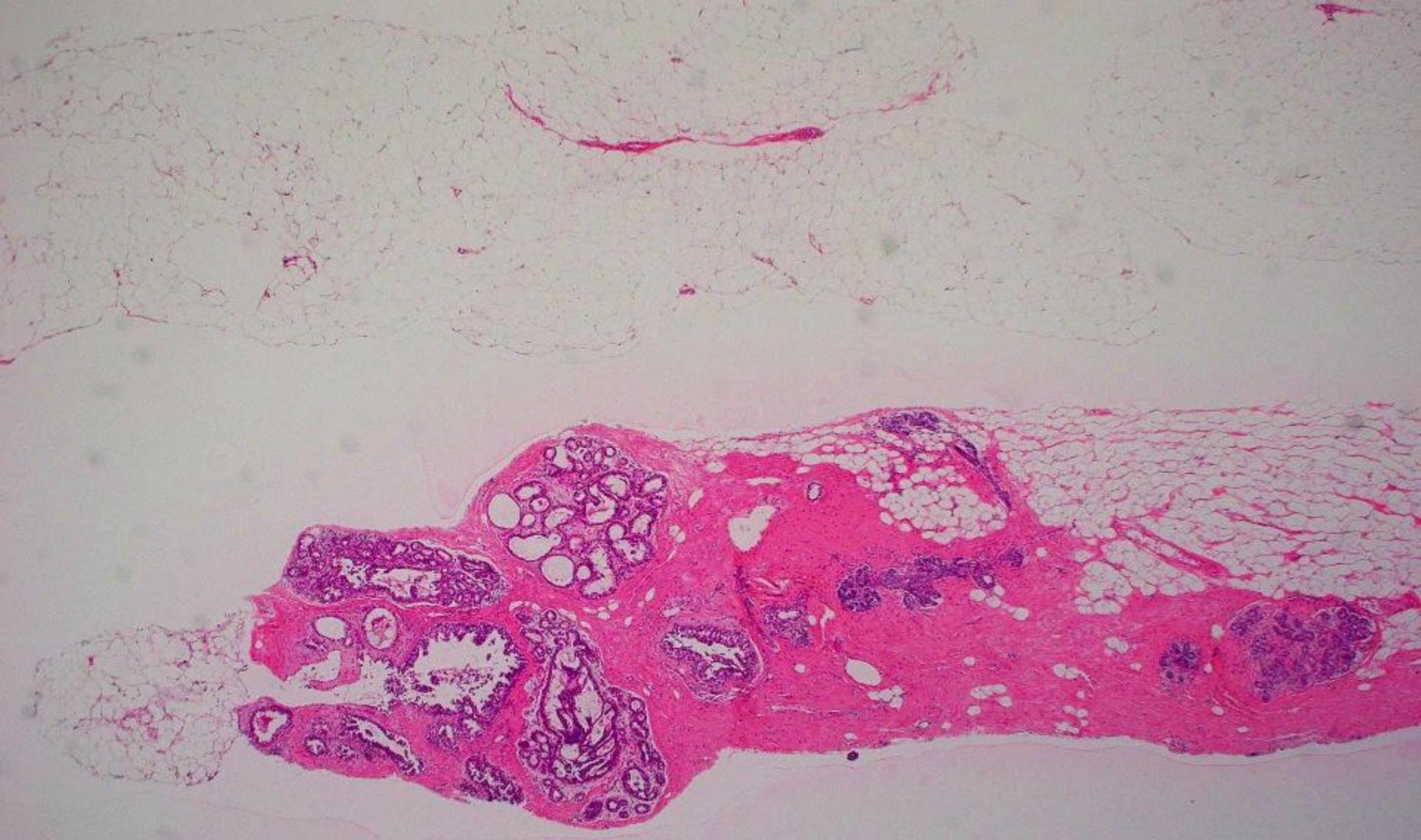
ステレオガイド下吸引式組織生検を施行

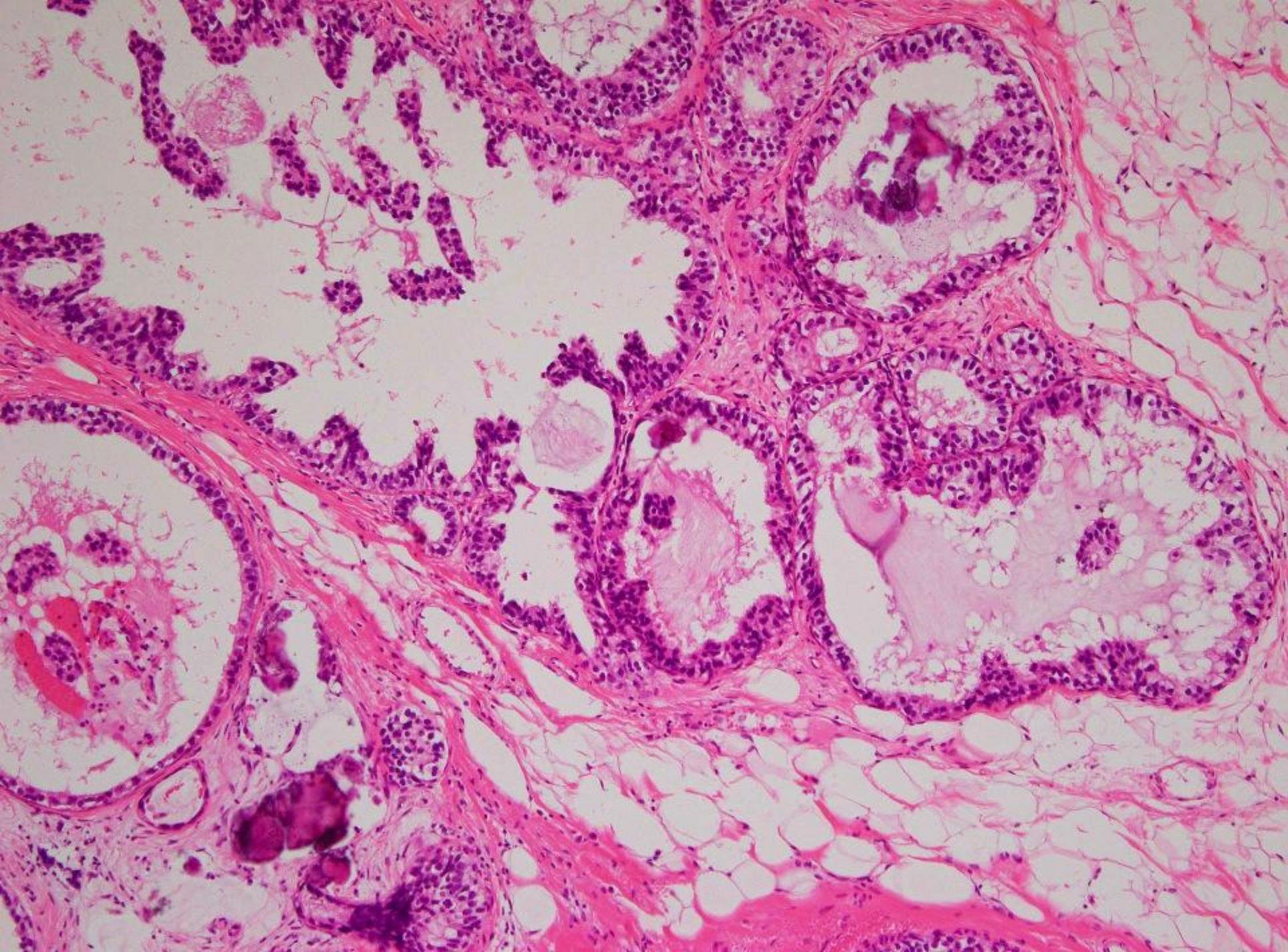
病理所見

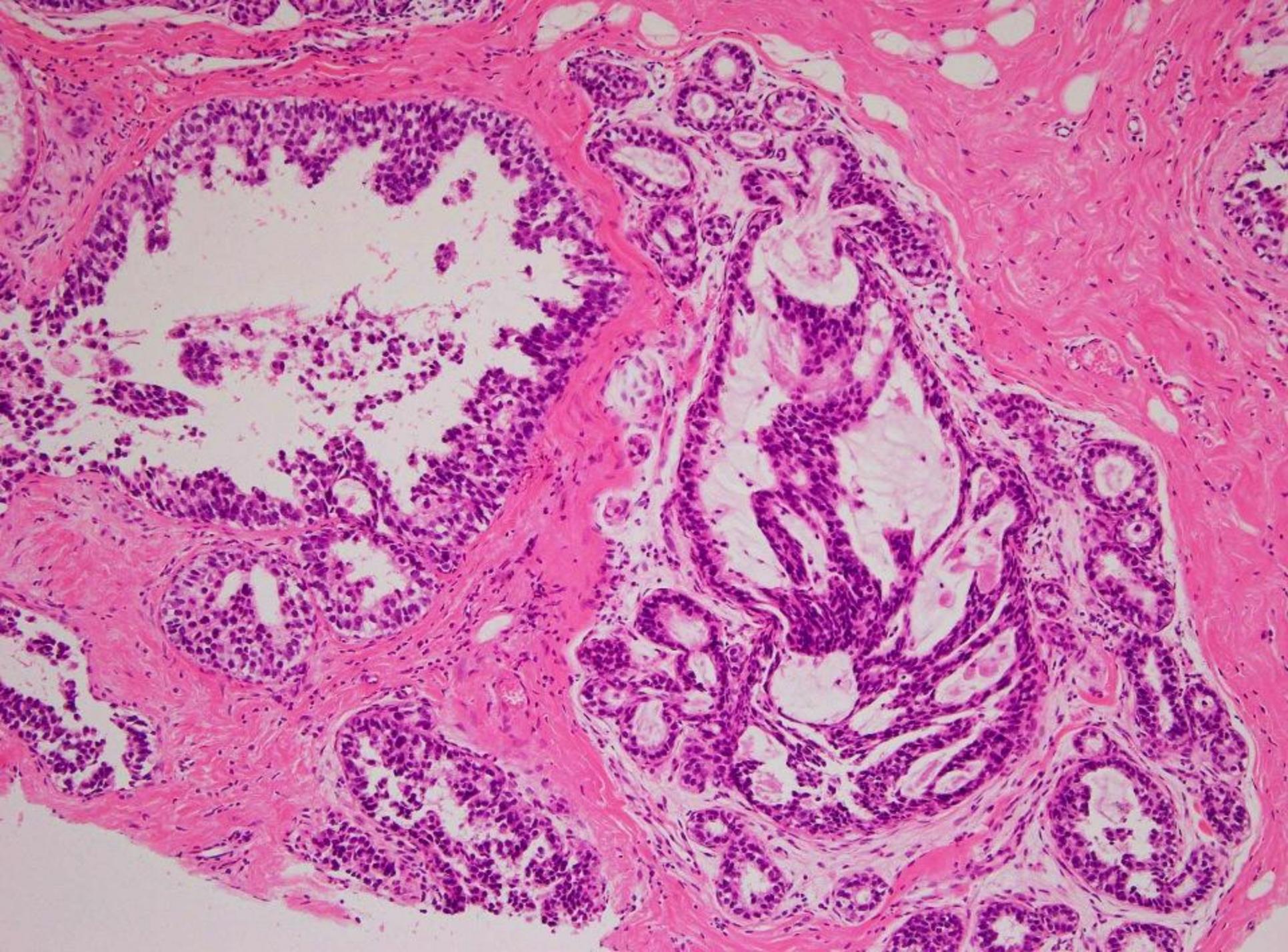
(ステレオガイド下吸引式組織生検)

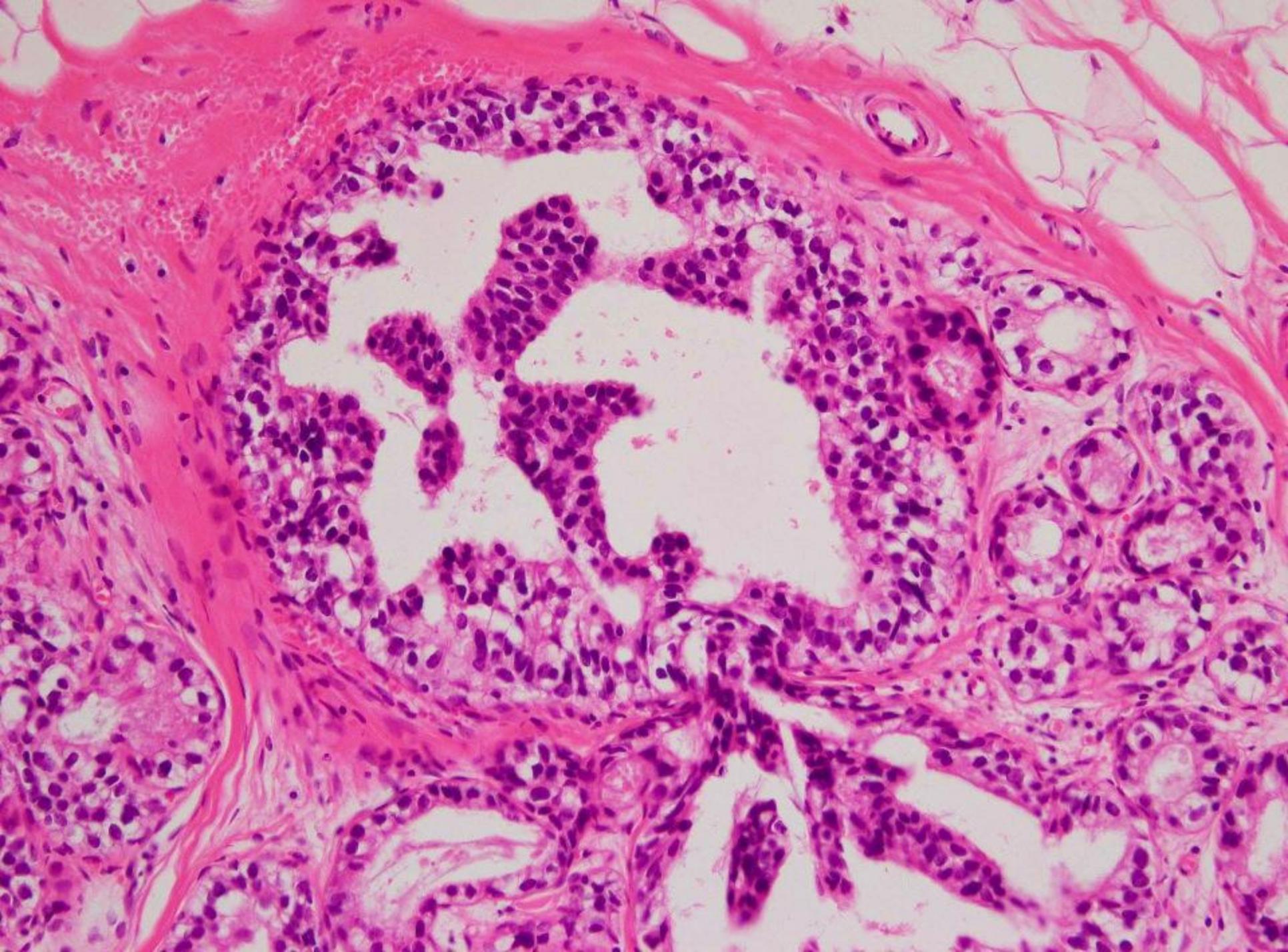
ステレオガイド下吸引式組織生検











ステレオガイド下吸引式組織生検で、
Non-high grade DCIS
の診断

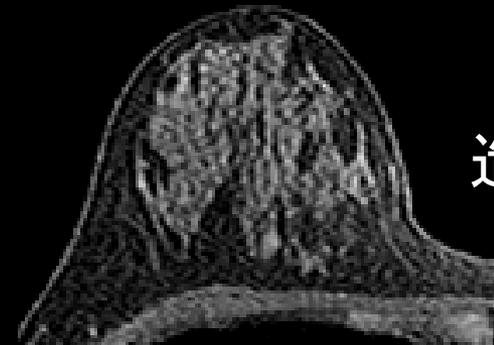
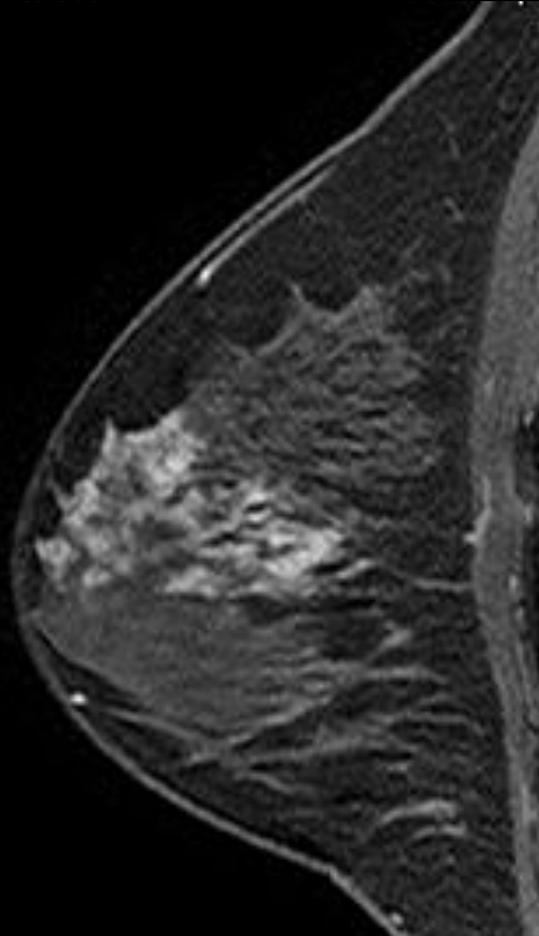
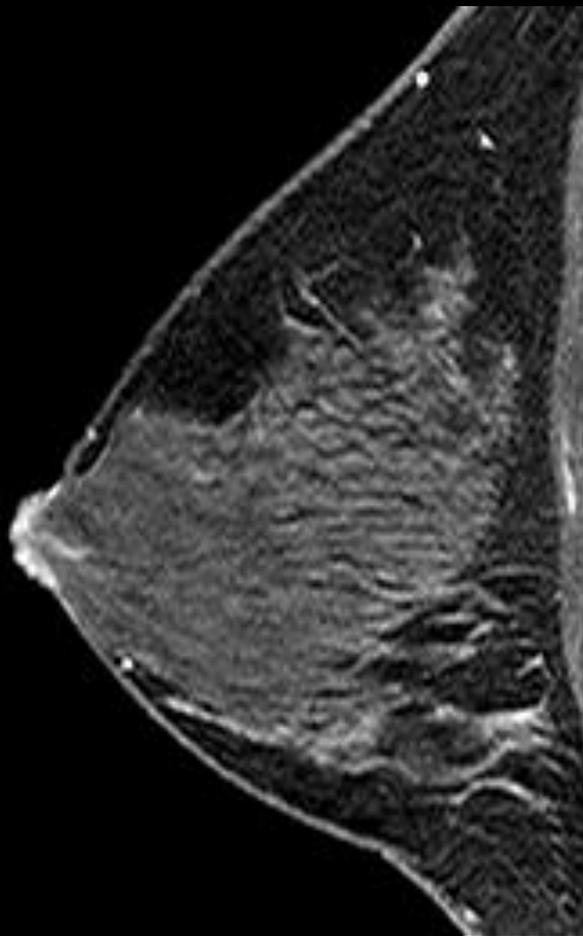


病変の広がりを確認するため、MRIを施行

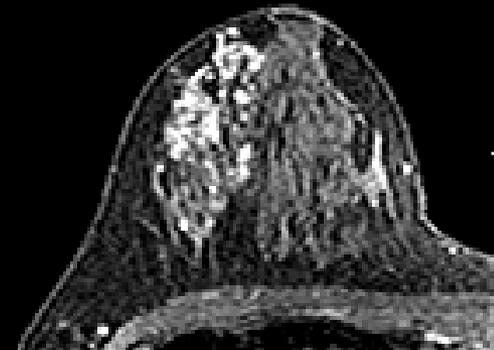
MRI ダイナミック造影

冠状断画像

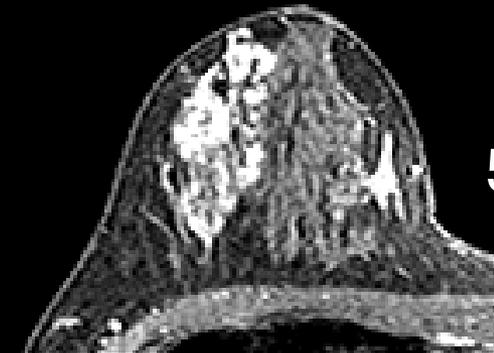
矢状断画像



造影前

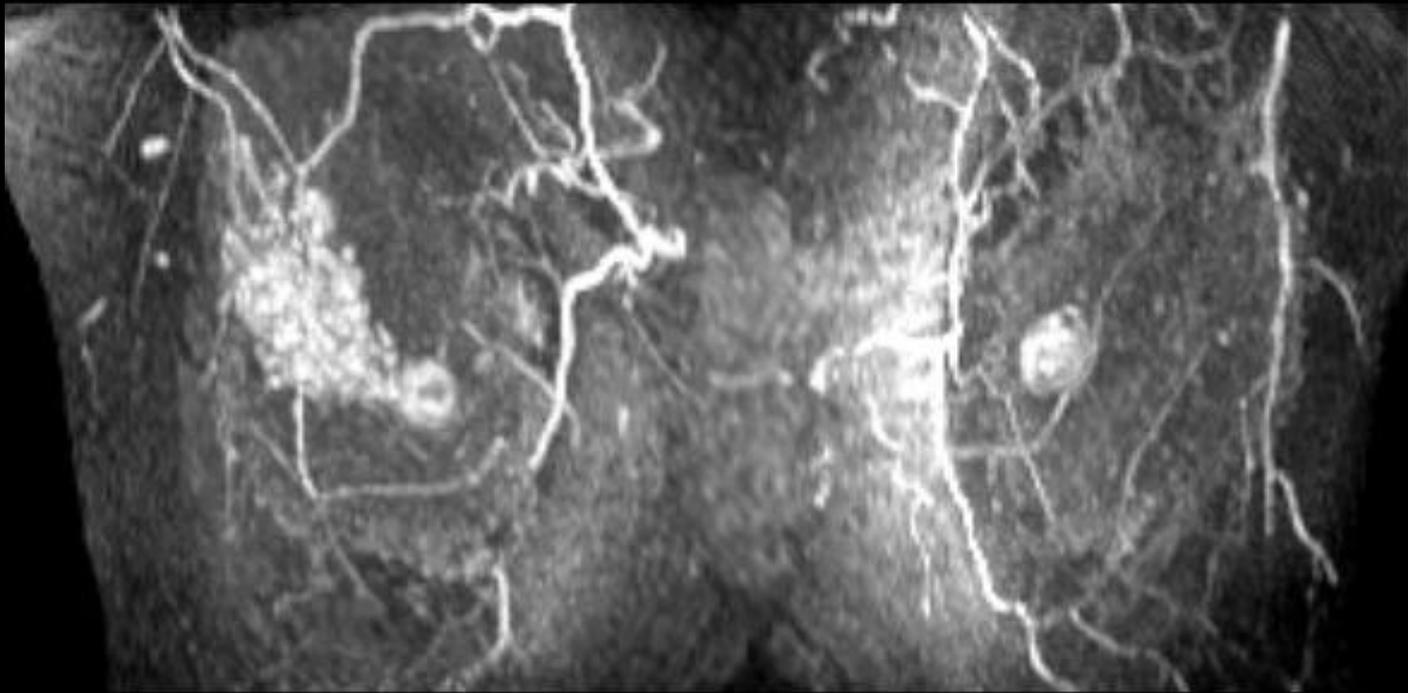


1分後

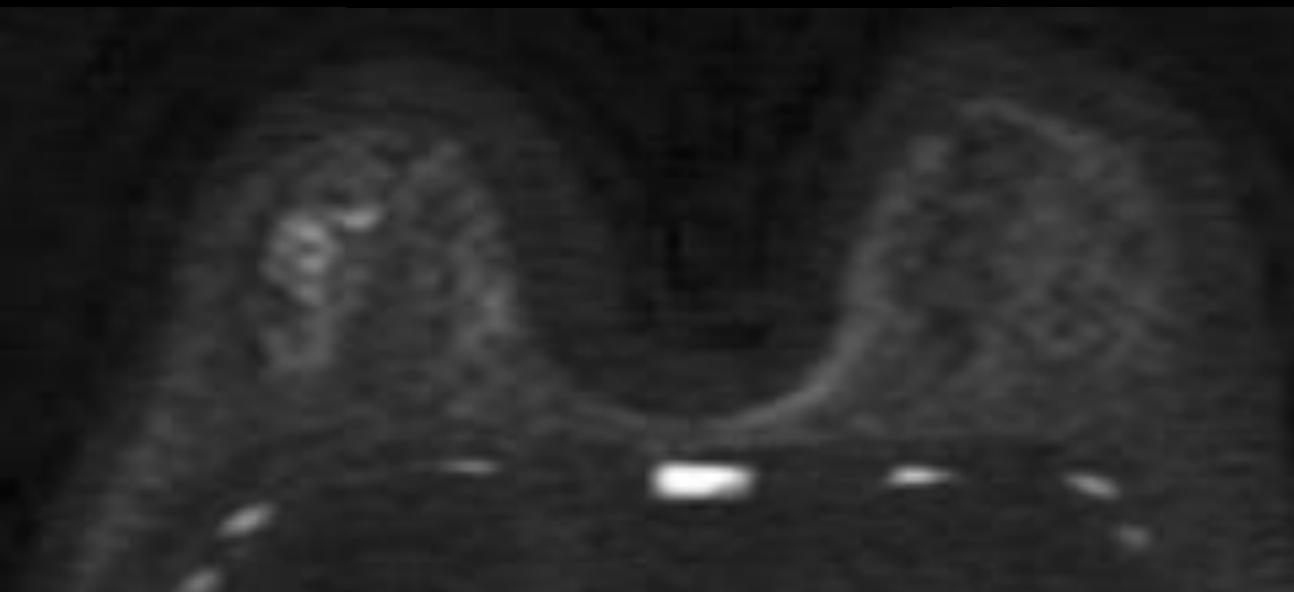


5分後

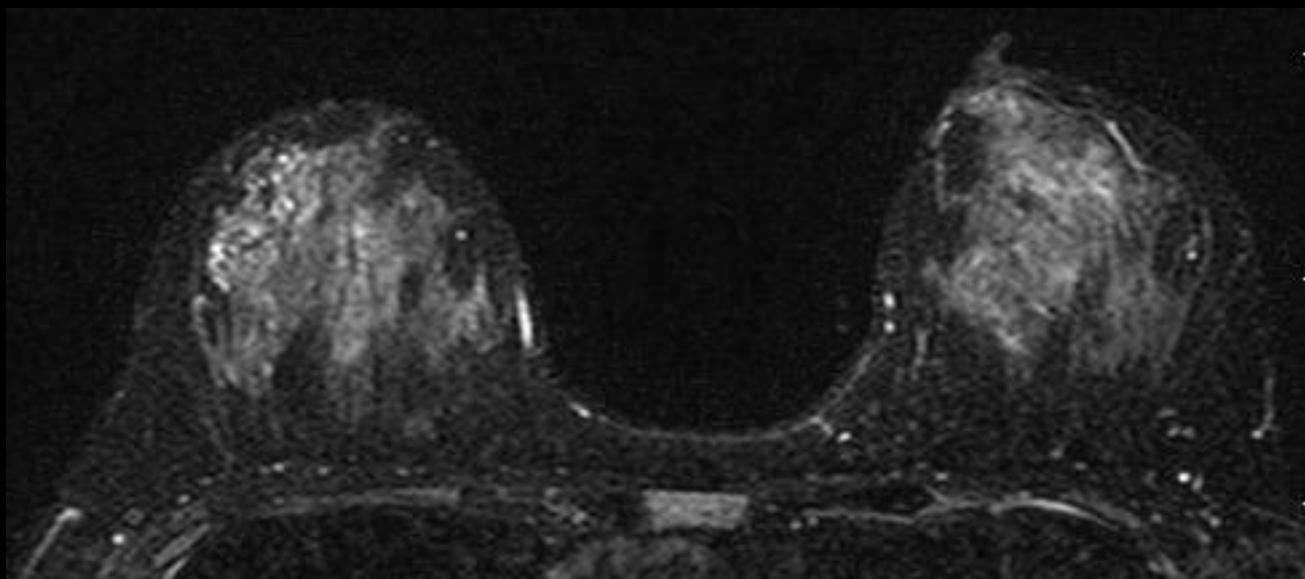
冠状断MIP画像



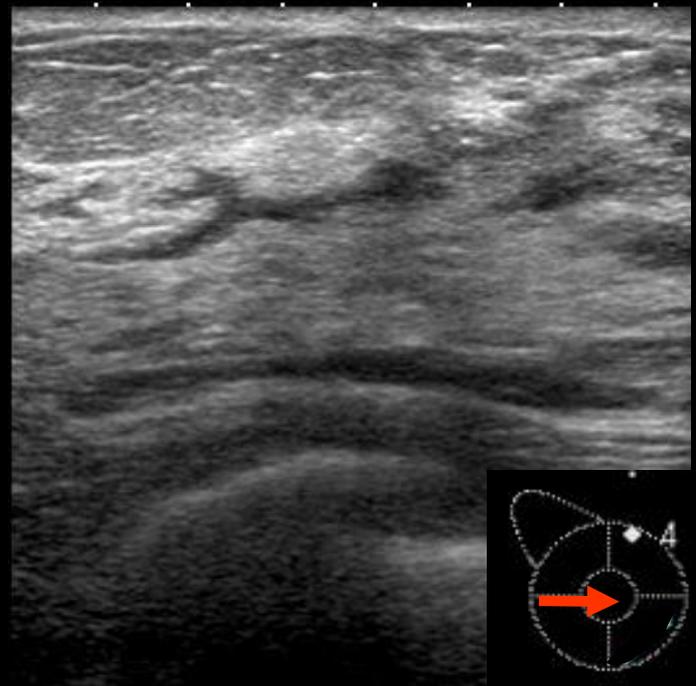
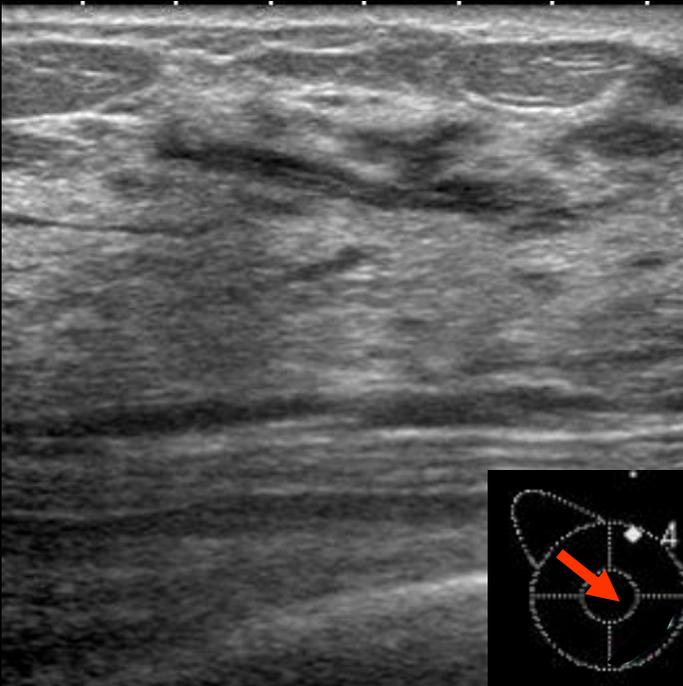
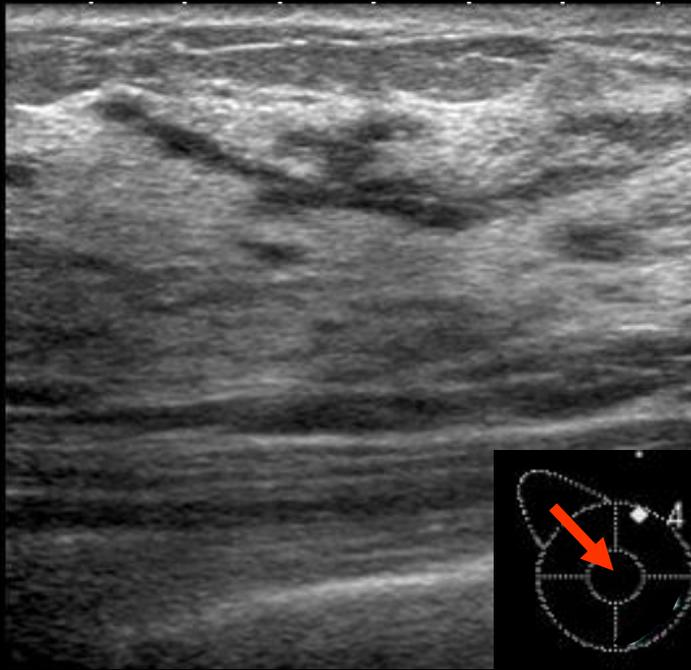
拡散強調画像



脂肪抑制T2強調画像



MRI後の 2nd look US



質問事項

1. 画像所見は？
2. 今後の治療方針は？
術式について

解 説

1. 画像所見

MRI: BPE(background parenchymal enhancement) minimal

- ダイナミック造影、矢状断画像

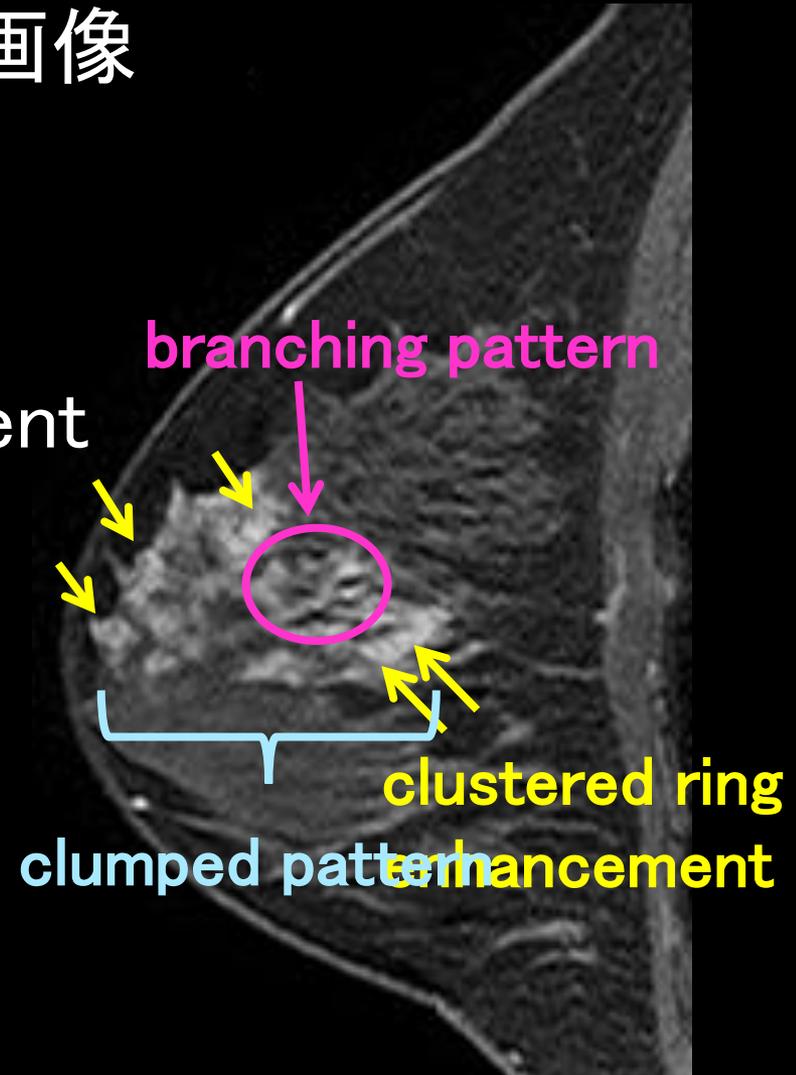
- Non-mass enhancement

- * branching pattern

- * clustered ring enhancement

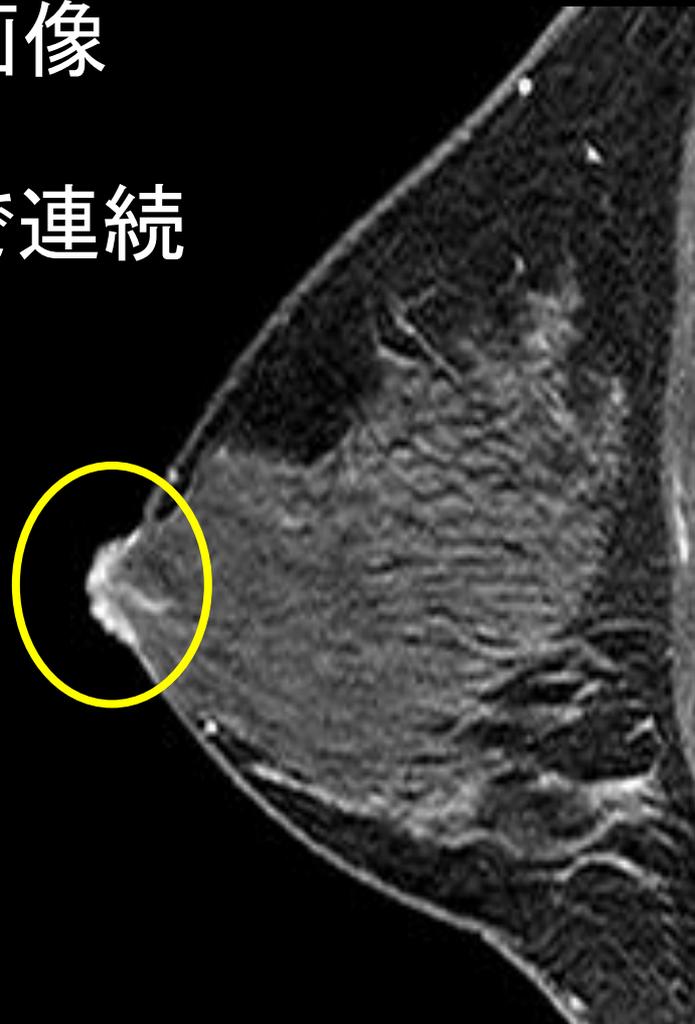
- * clumped pattern

が混在。



- ダイナミック造影、矢状断画像

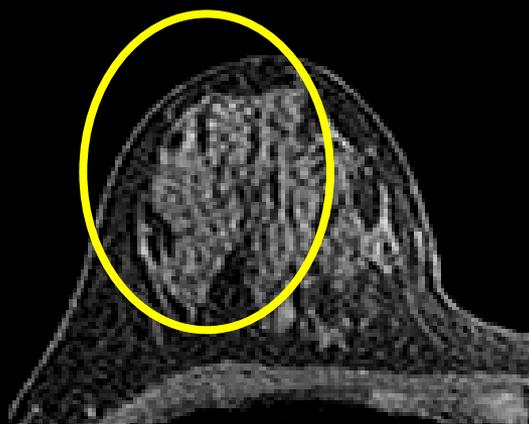
造影効果は乳頭内にまで連続



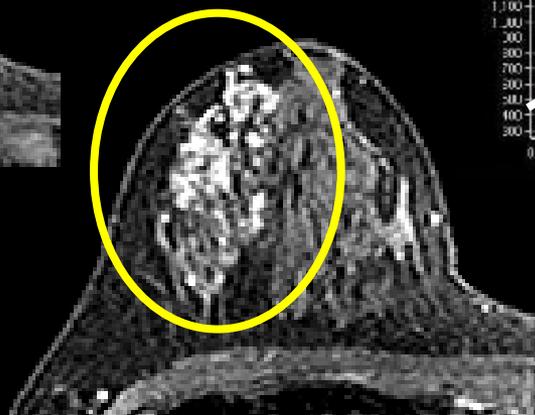
- ダイナミック造影、冠状断画像

Fast-persistent pattern

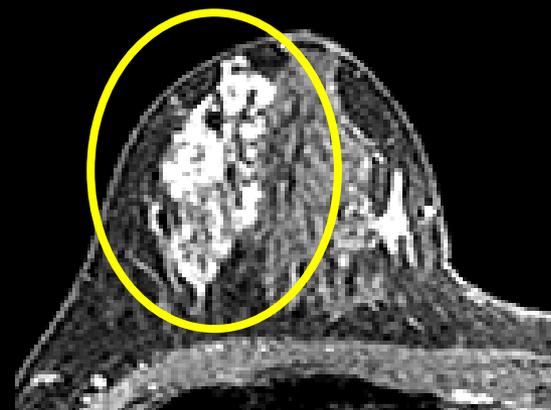
*TIC (Time Intensity Curve)



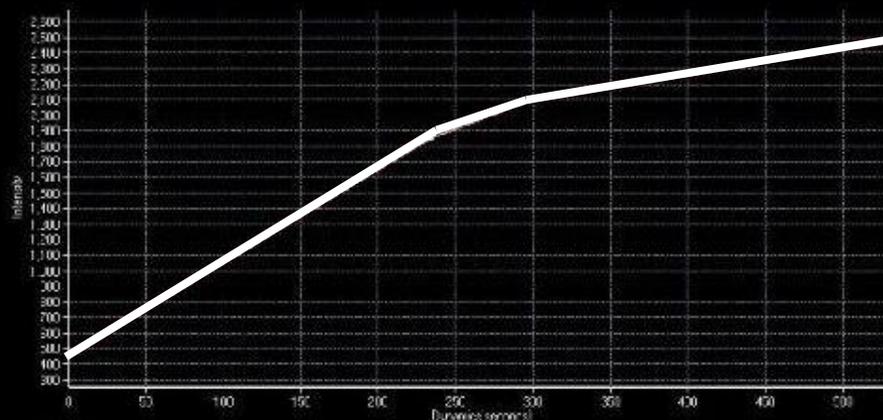
造影前



1分後



5分後



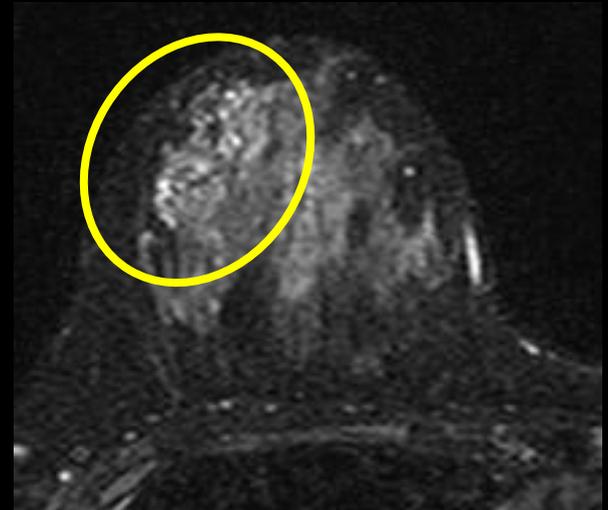
- 拡散強調画像:

淡い点状の高信号が散在



- 脂肪抑制T2強調画像:

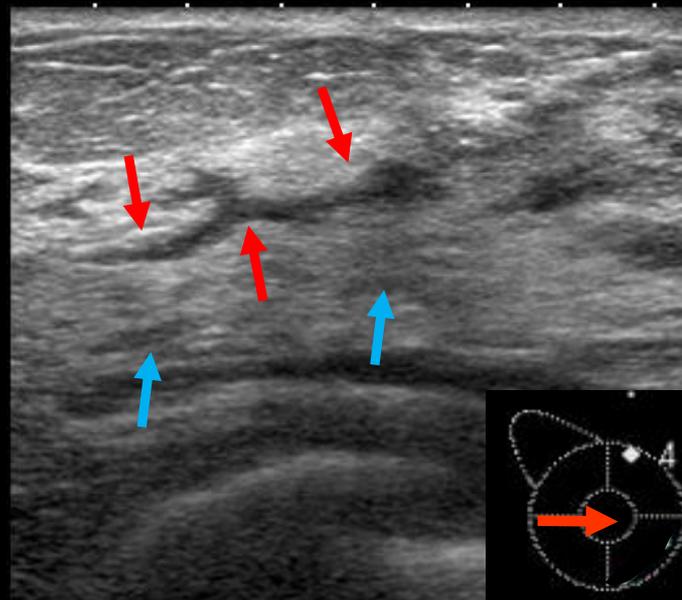
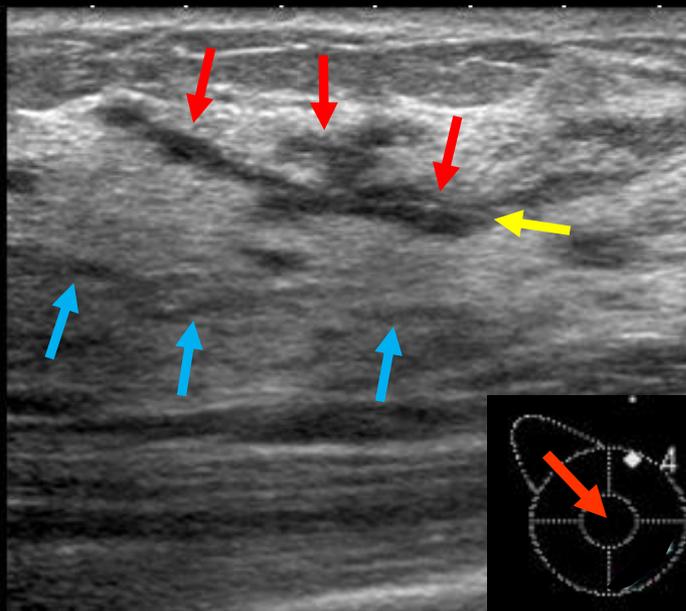
拡張乳管内液貯留と思われる点状高信号が散在



MRI

- 右C領域に広く区域性に広がる増強効果を認める。造影効果は乳頭内にもまで連続している。
- 非浸潤性乳管癌あるいは乳管内癌成分を豊富に含む浸潤性乳管癌（カテゴリー5）を疑う。

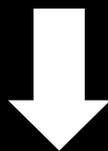
MRI後の2nd look US



- 右C領域の乳腺の皮膚側で、**豹紋状の低エコーの部位**は**他の部位**に比較して少し太く見えるが、比較的規則的で異常な低エコー域とは取れず、中心部に比較的若い女性に見られる**正常の線状高エコー**も認め、この所見は正常範囲と考えられる。
- 点状高エコーは明らかでない。

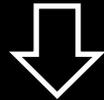
術前診断

左C領域乳癌 cTisN0M0 stage 0



手術治療へ

- 悪性を疑う範囲が広範囲
- 乳頭内にまで病変が進展している可能性



• 乳房部分切除術ではなく、乳房切除術を推奨

• 乳房切除術の選択であれば、乳房再建を希望

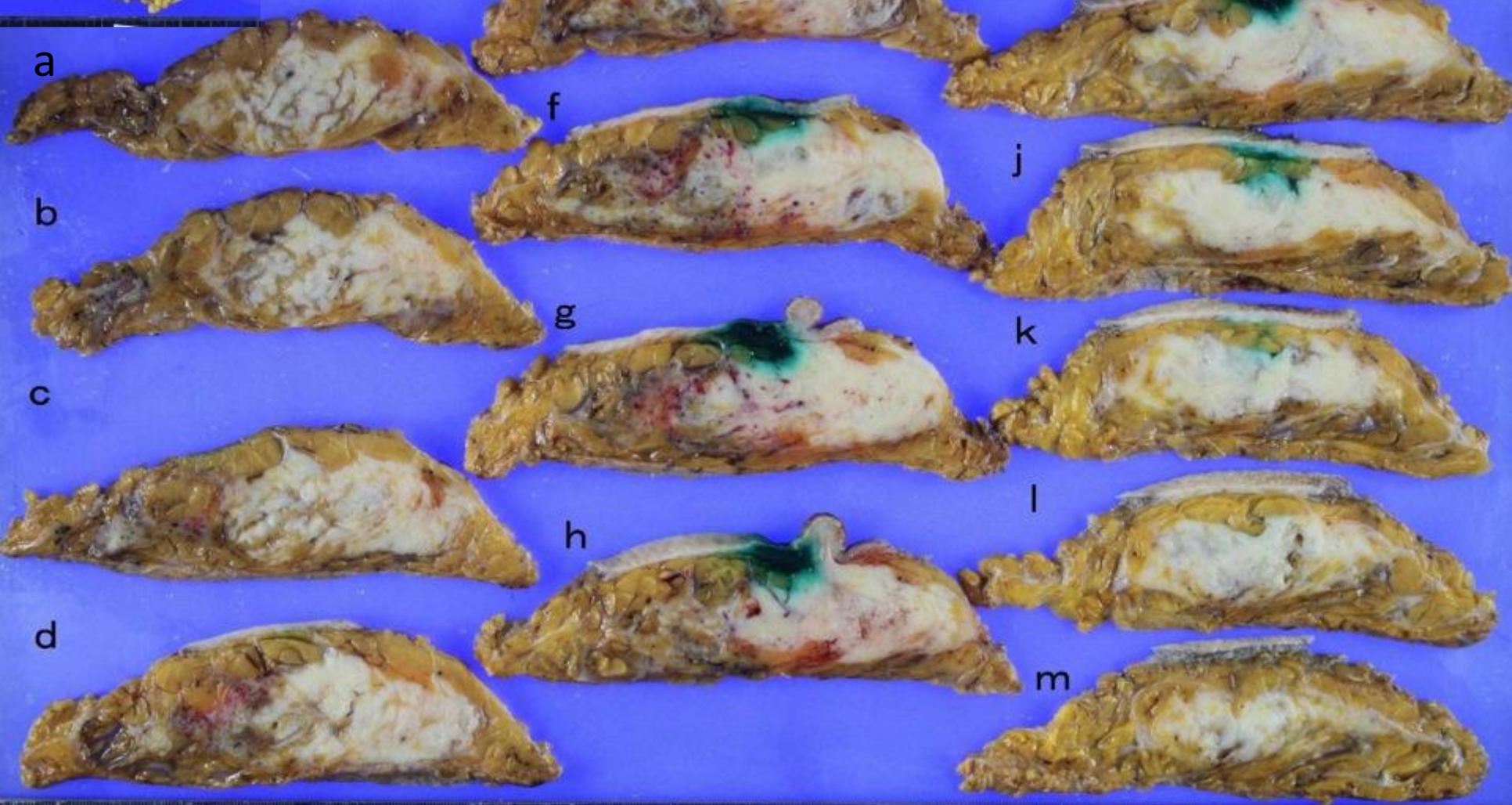
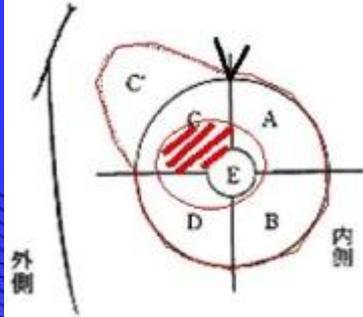
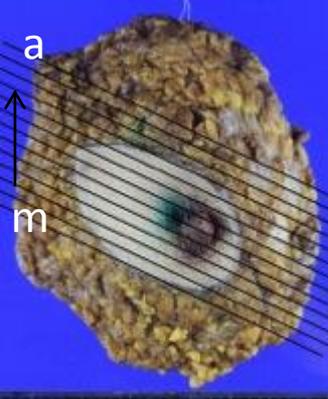
手術

乳房切除術＋センチネルリンパ節生検
＋組織拡張器挿入による一次乳房再建

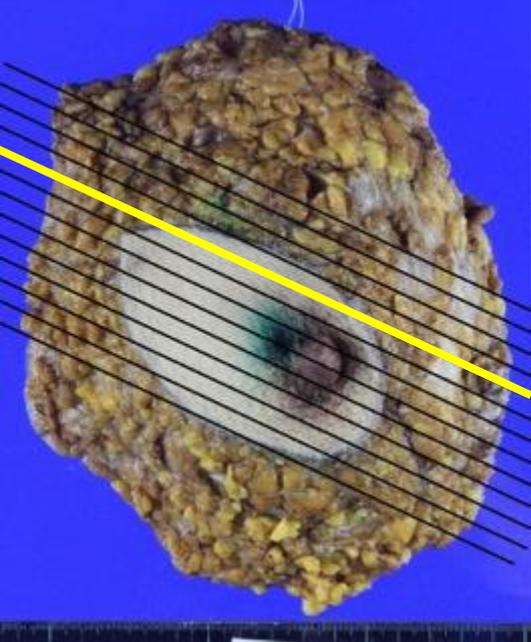
病理所見

(手術標本)

右乳腺全切除



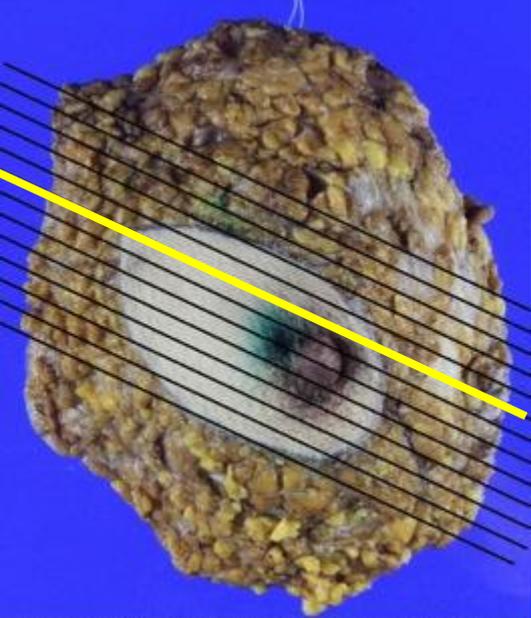
剖面d



d



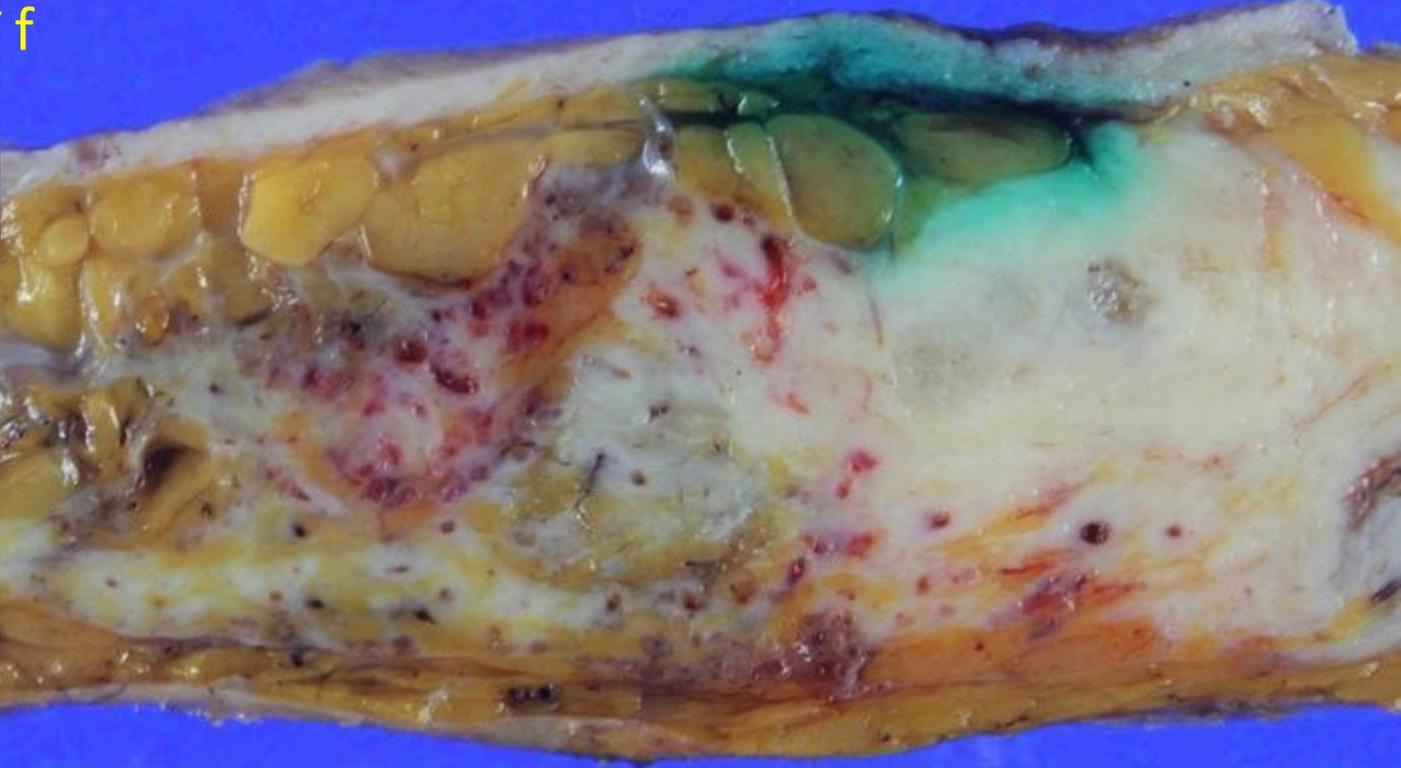
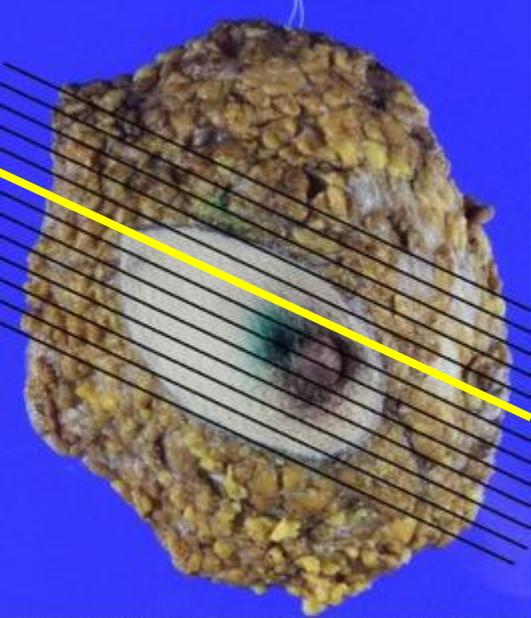
剖面e



e

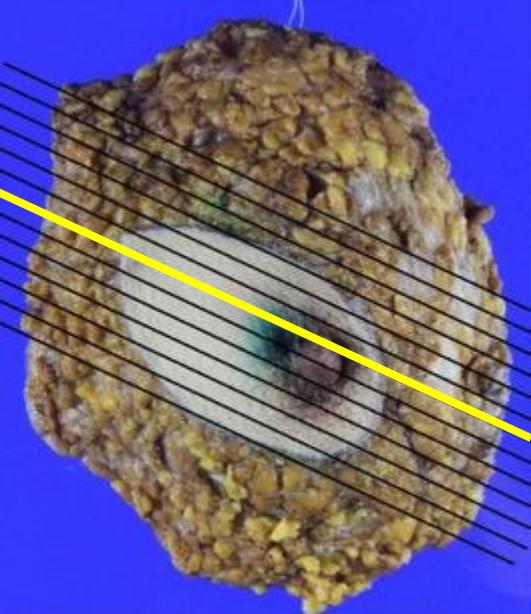


剖面f

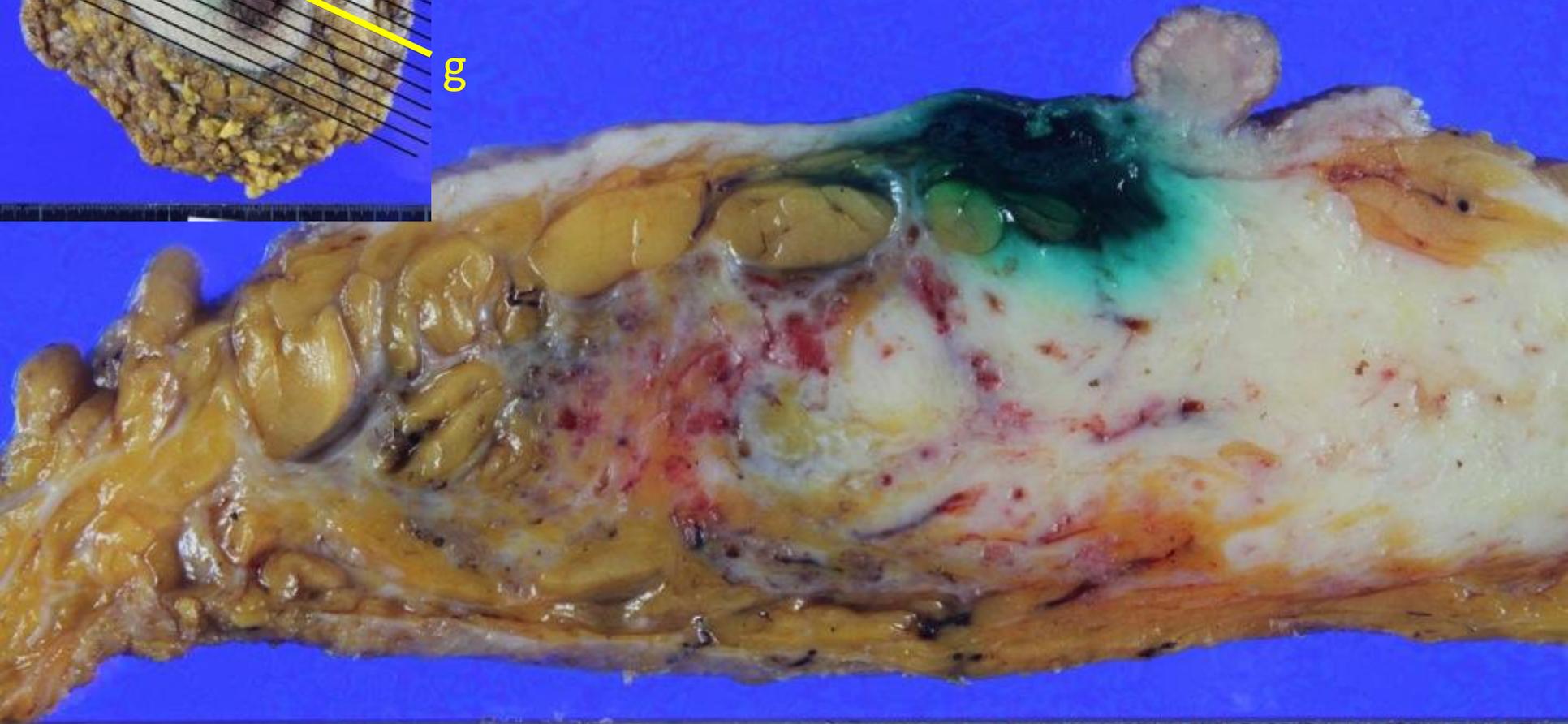


f

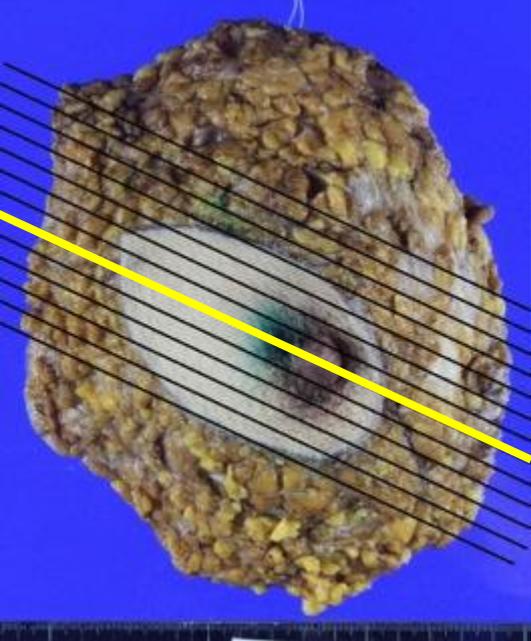
剖面g



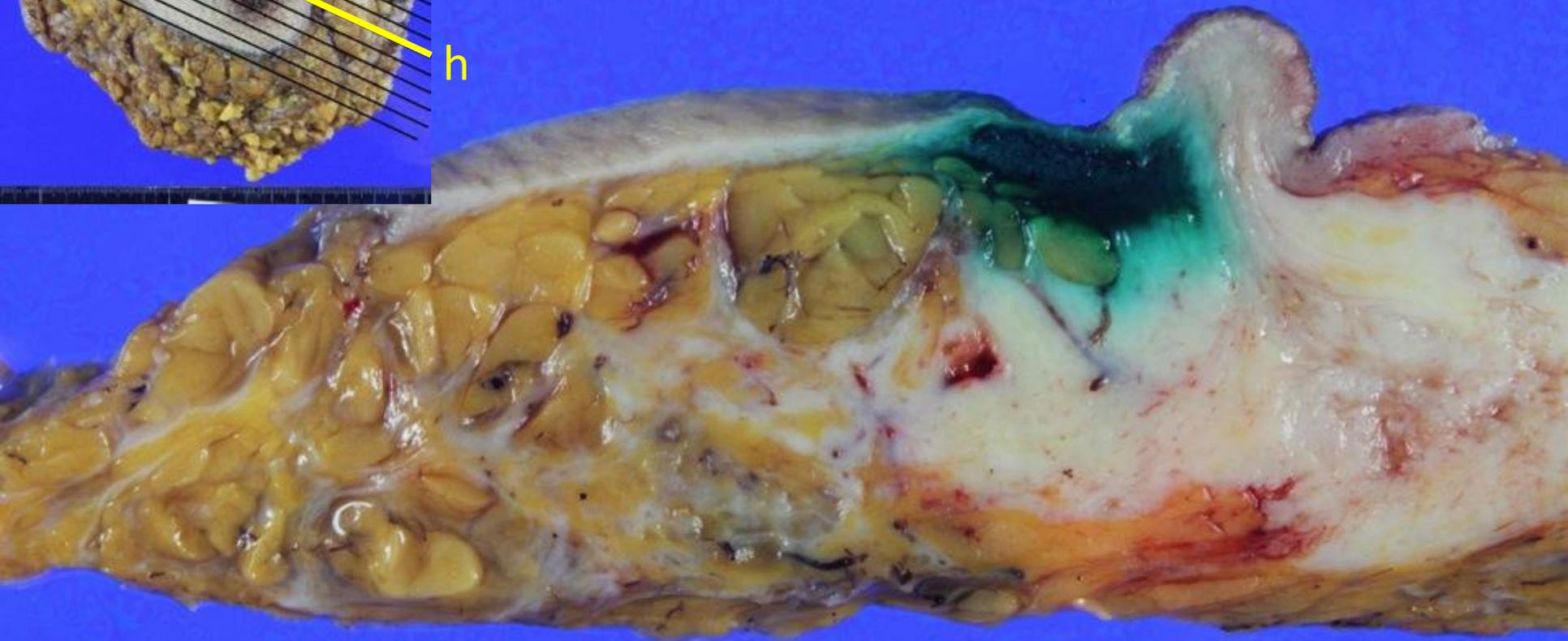
g



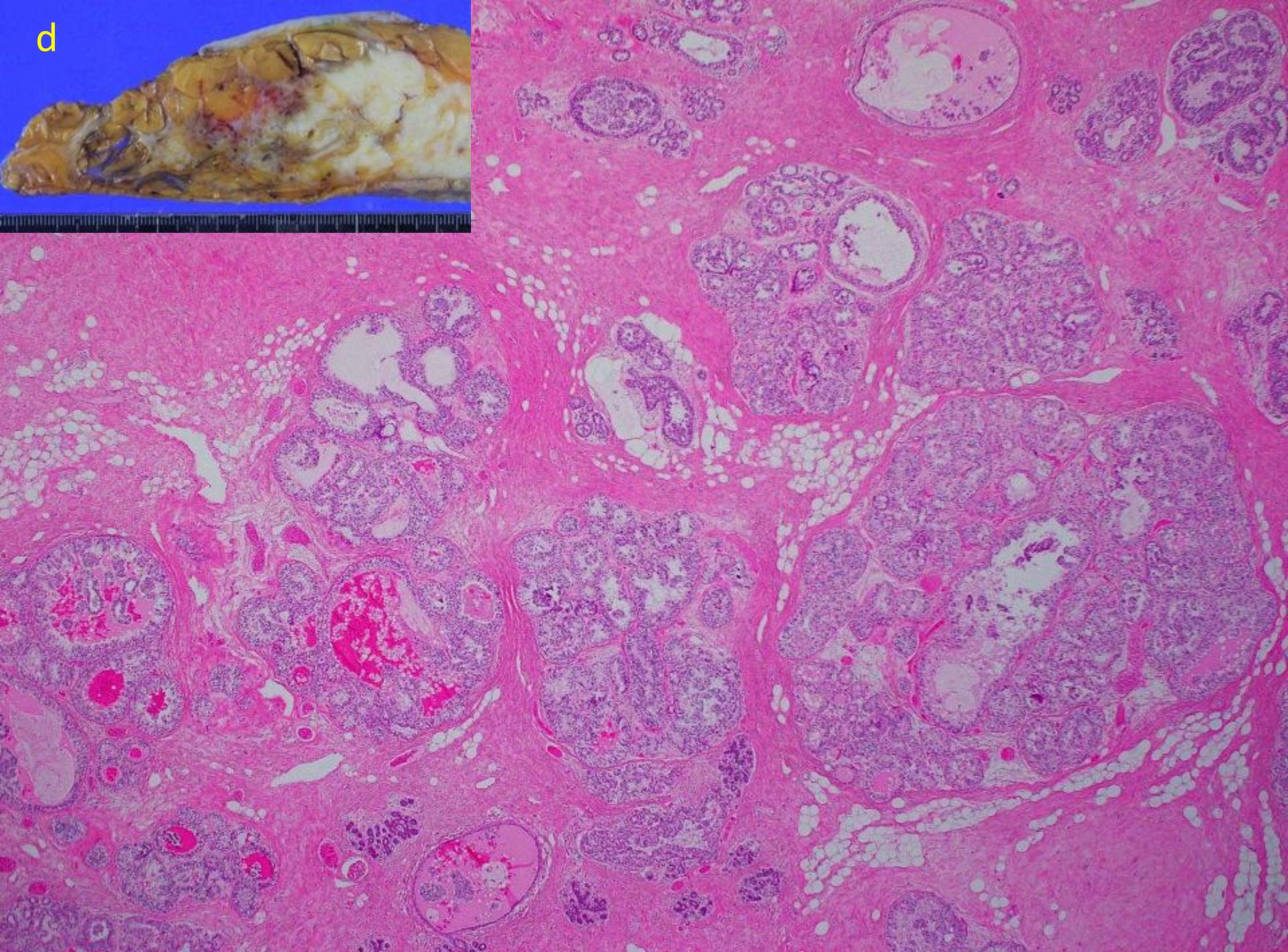
剖面h

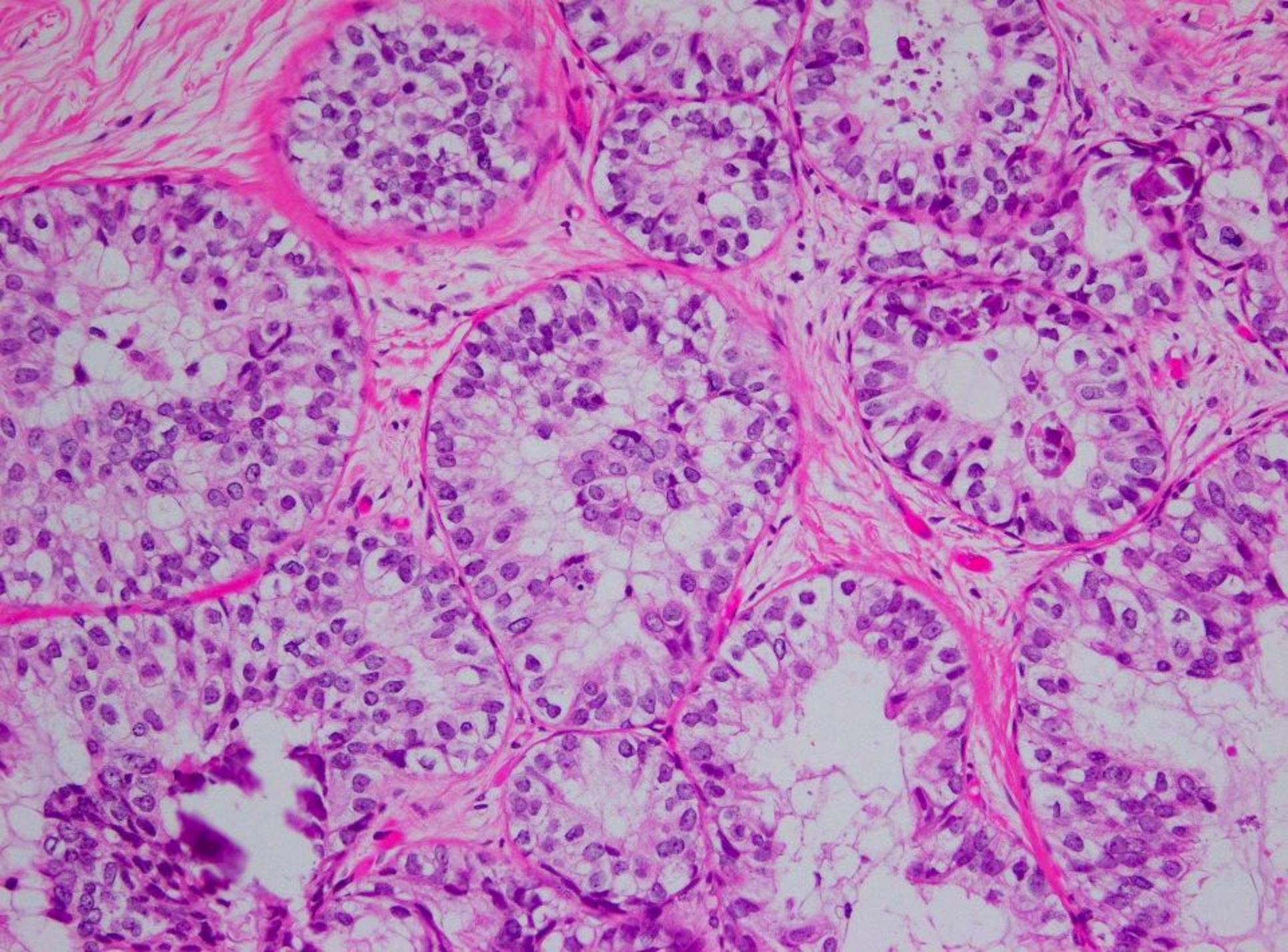


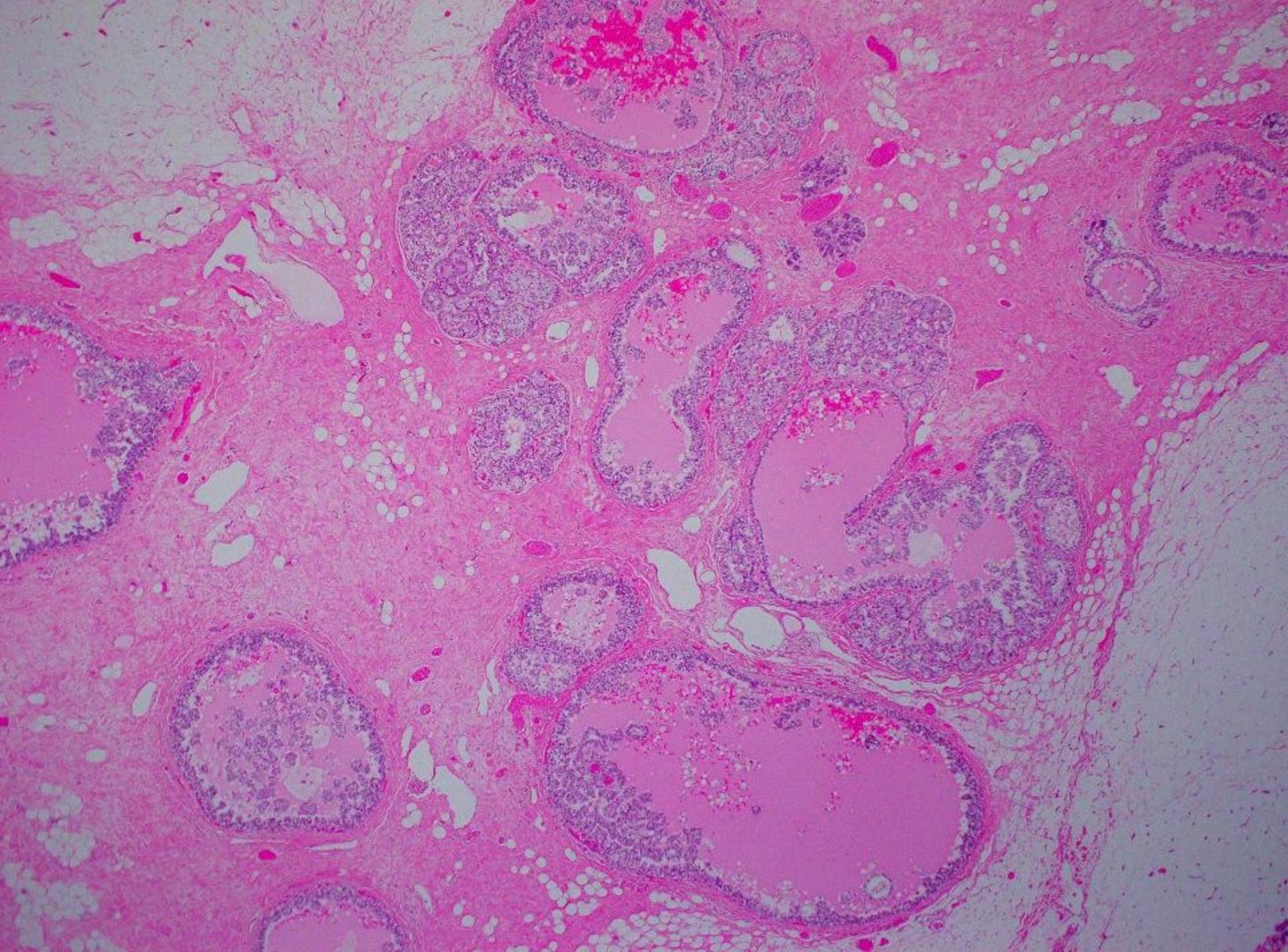
h

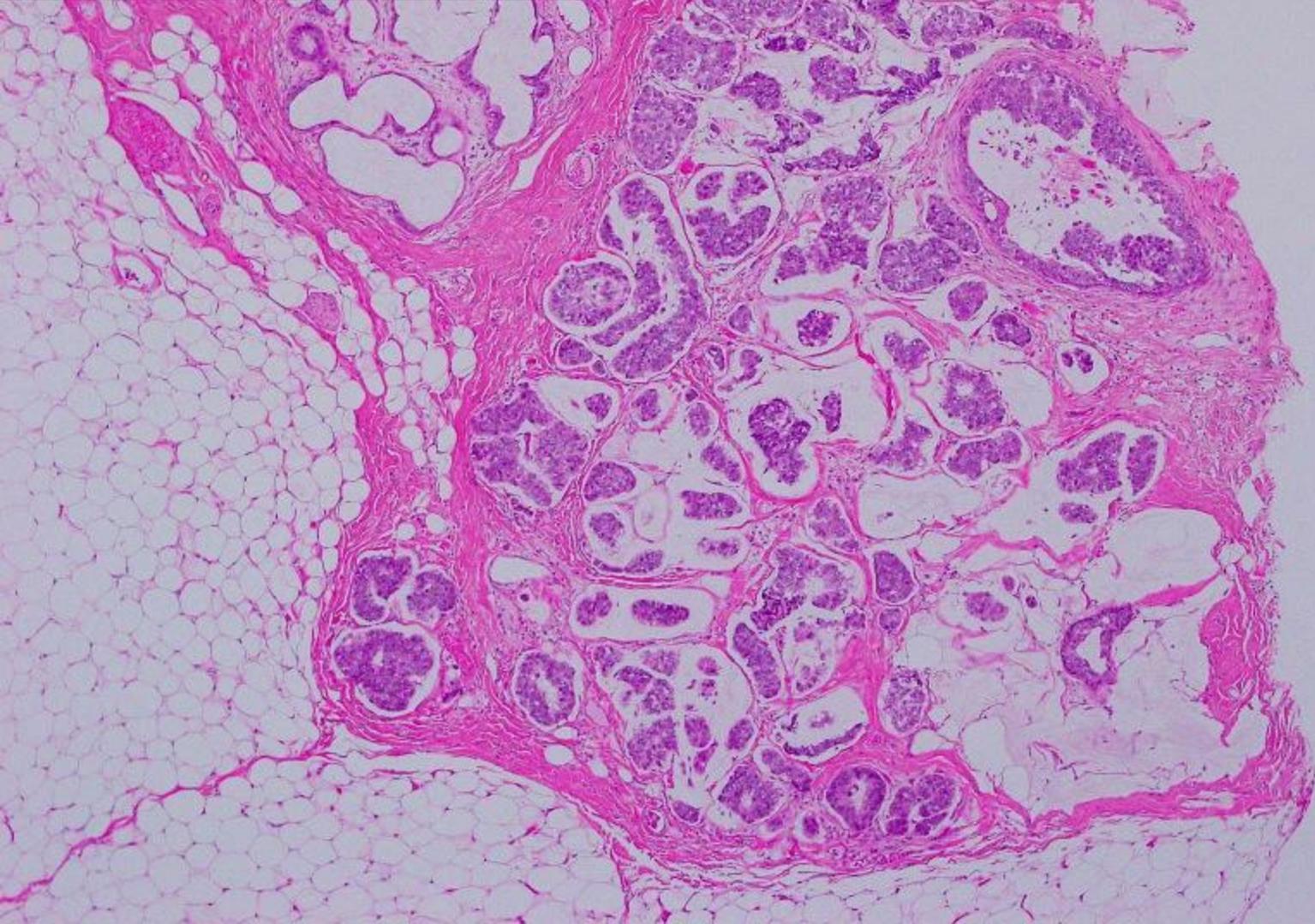
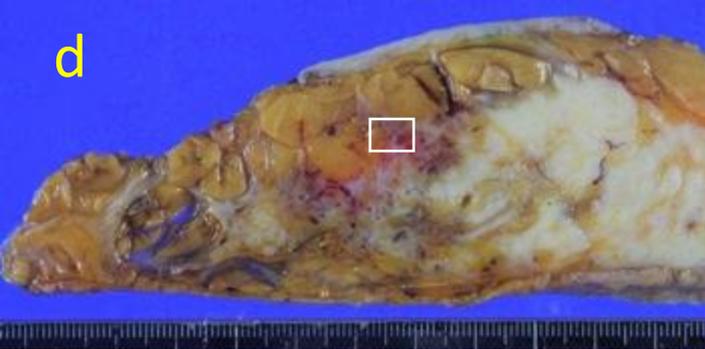


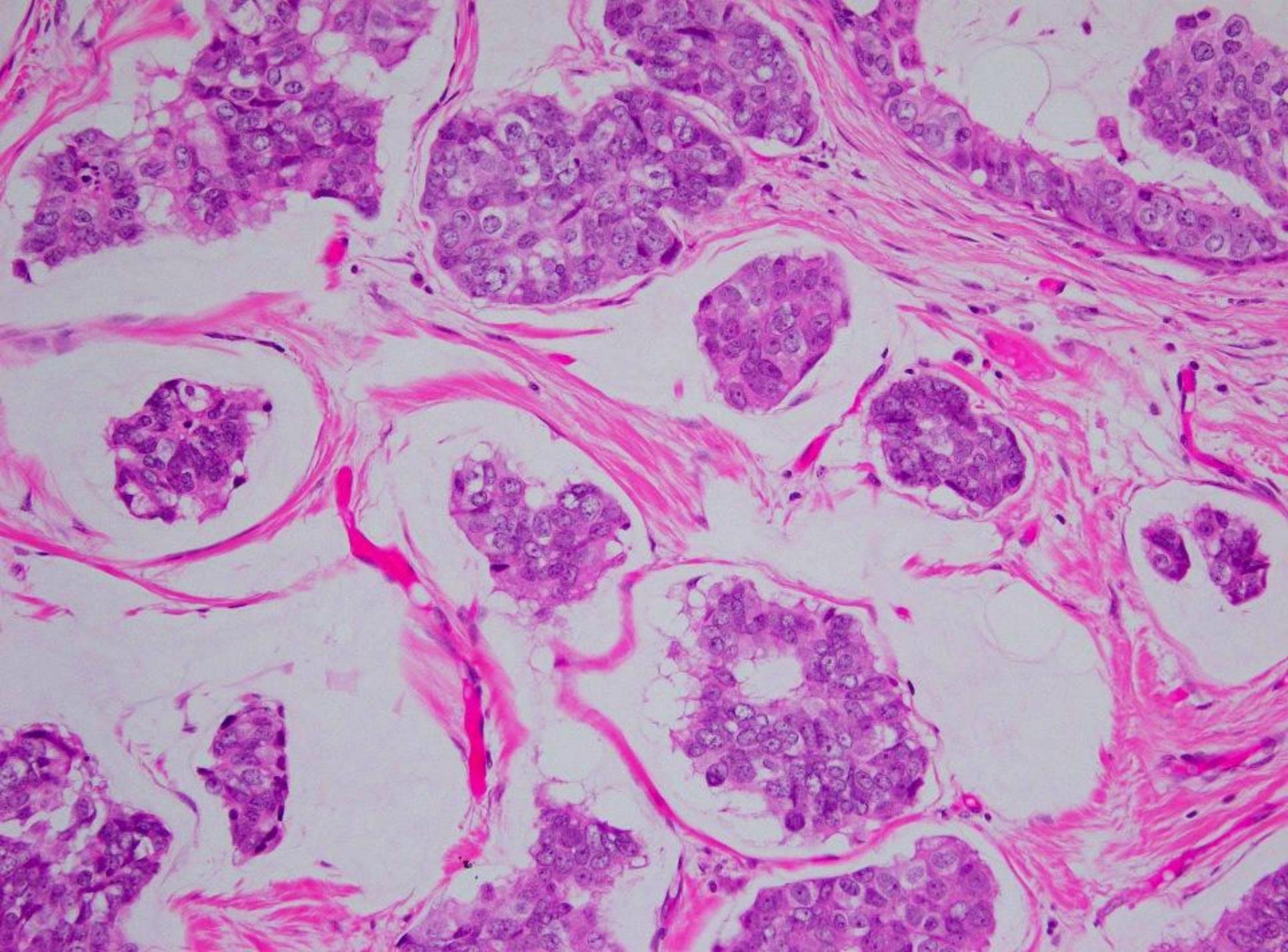
d

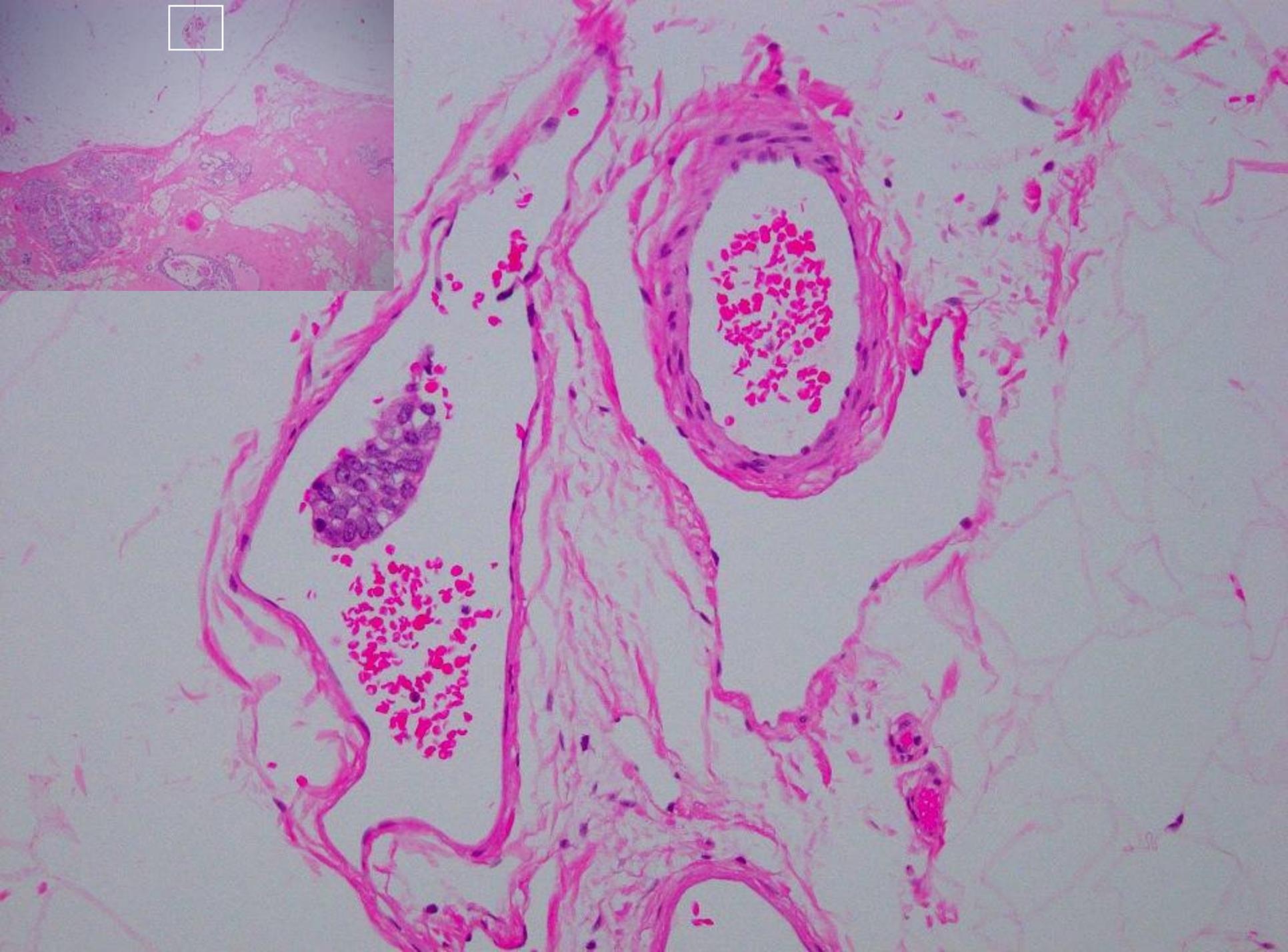


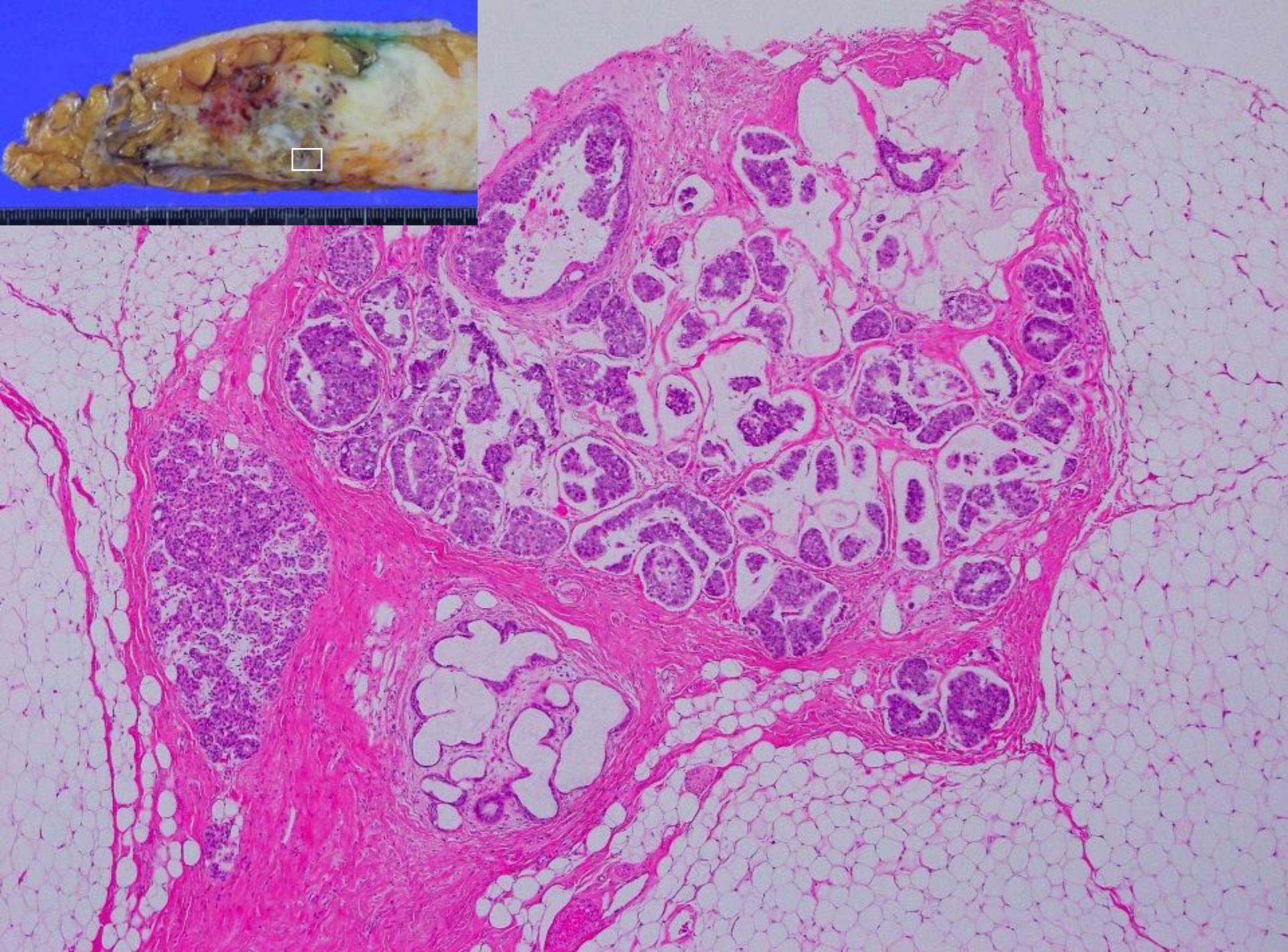


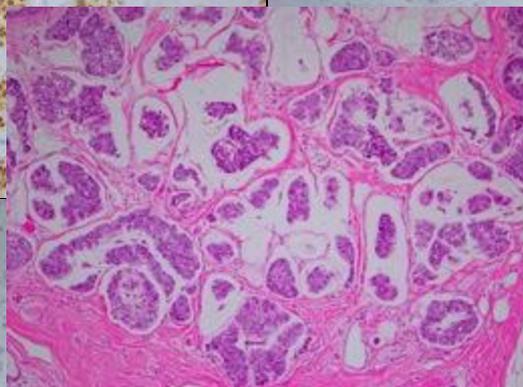
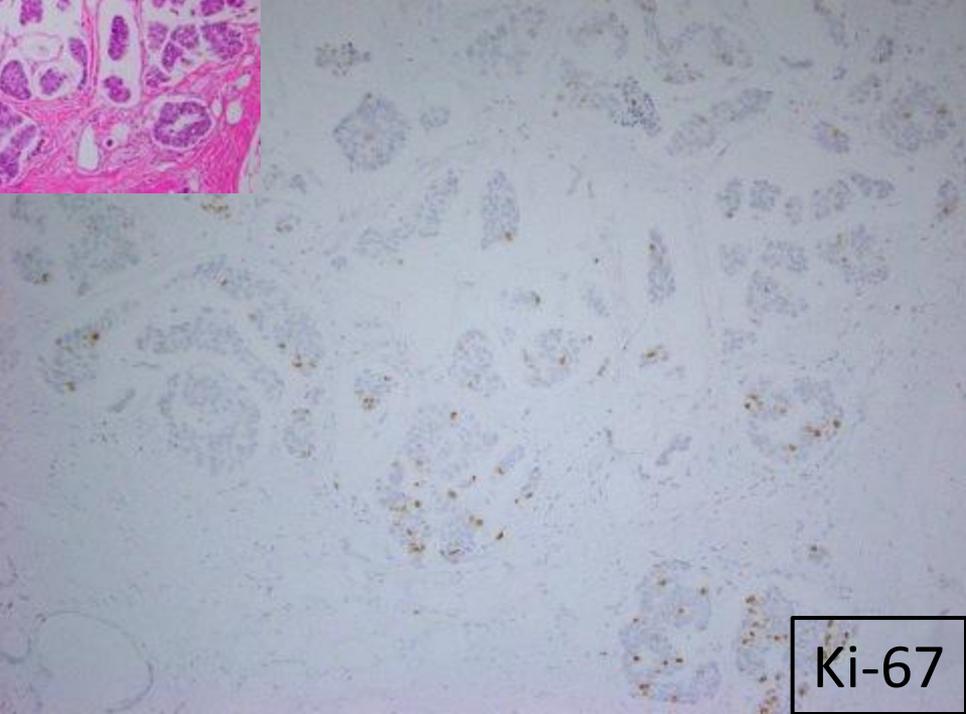
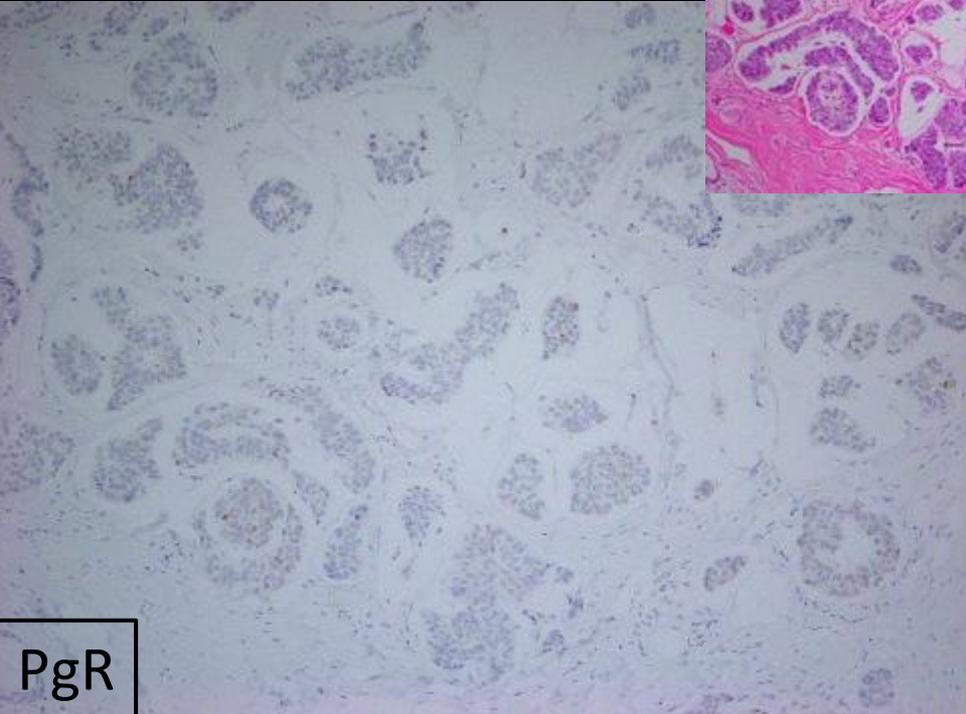
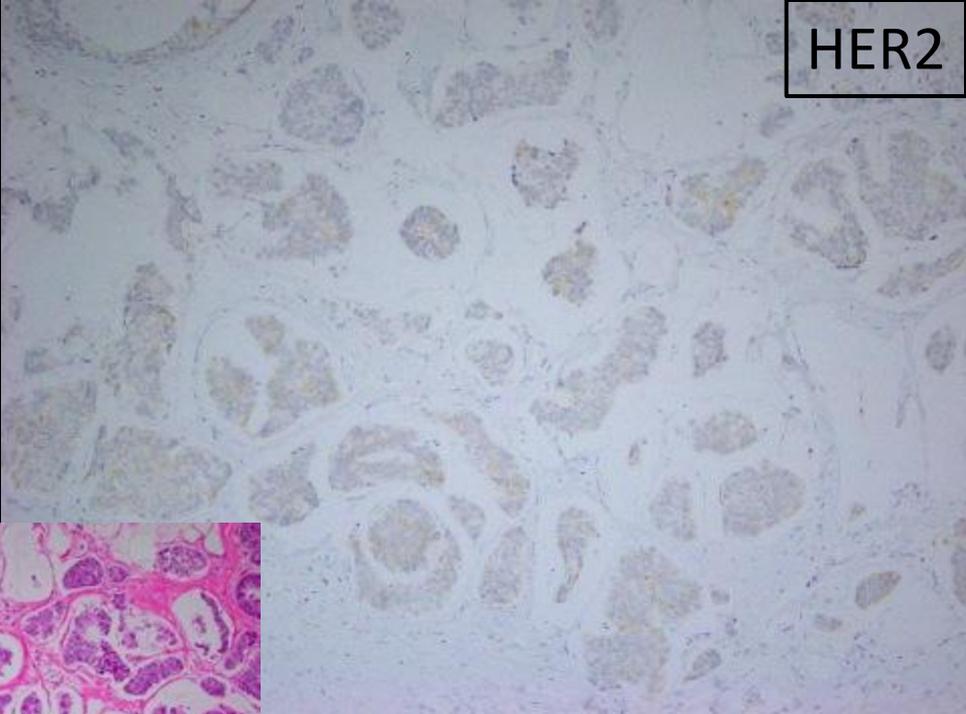
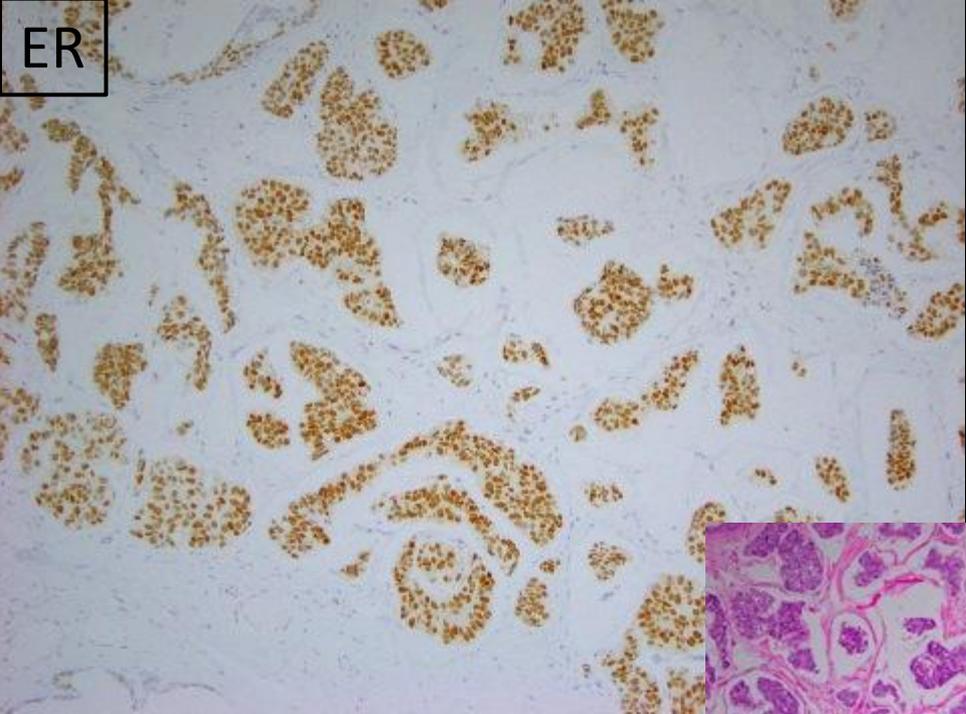








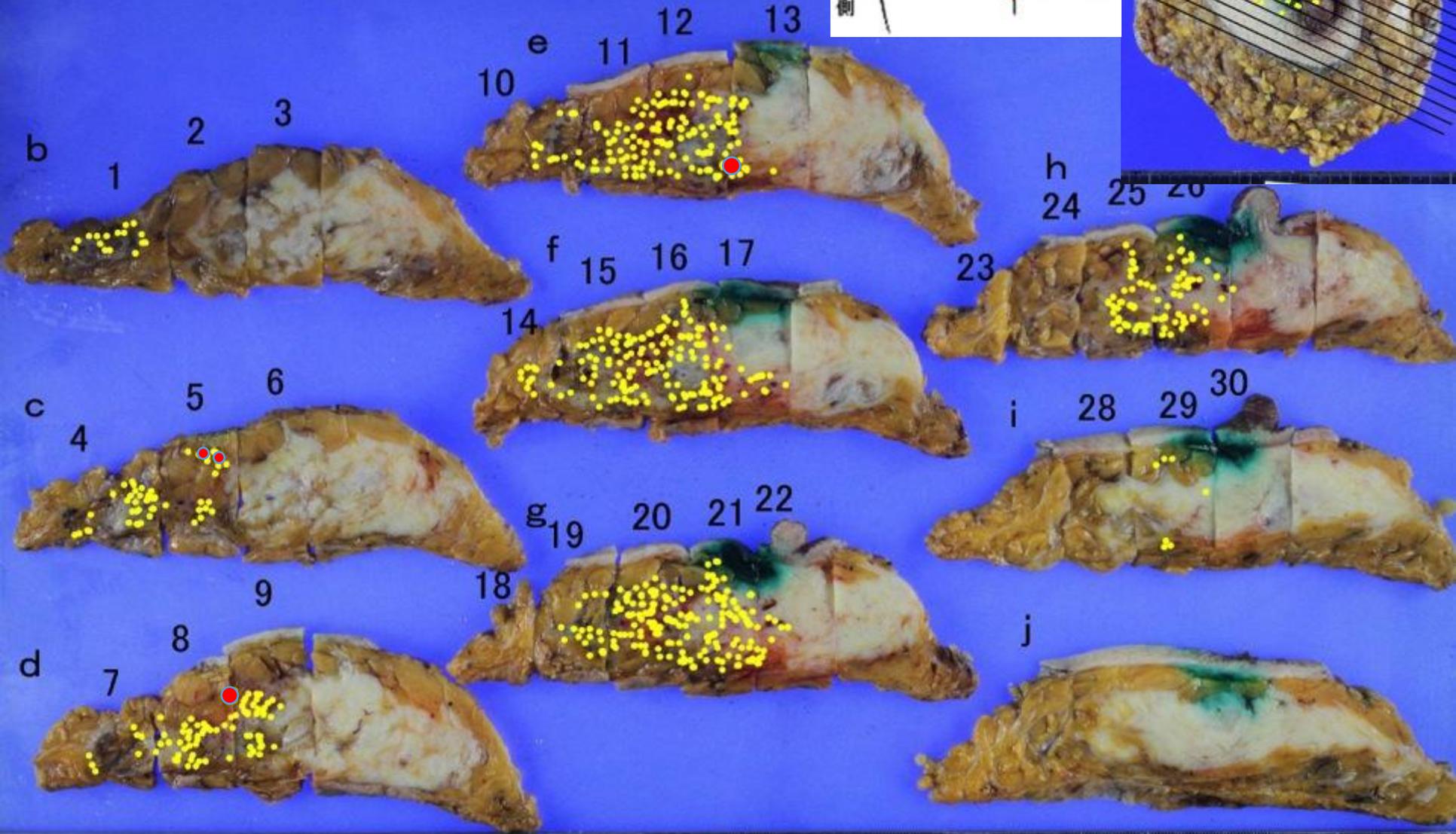
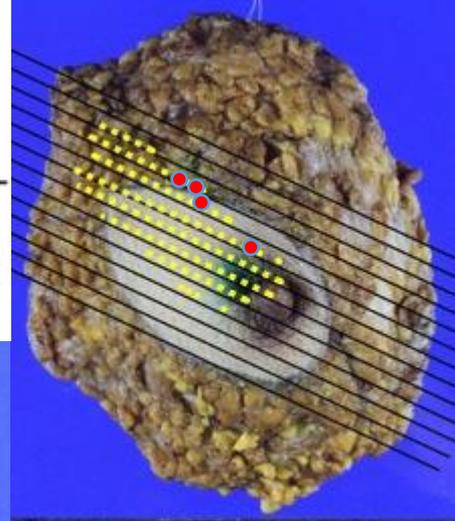
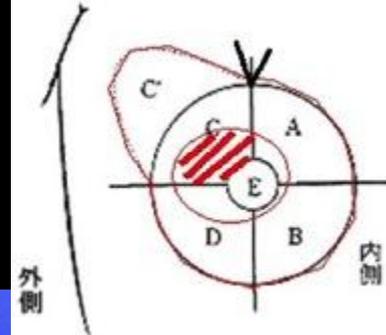




病變の占拠部位；右CE領域

Invasive ductal carcinoma, papillotubular carcinoma (Mucinous carcinoma) / Mucinous carcinoma, with a predominant intraductal component

UICC: pT1a(0.3cm), pN0(sn), M0



病理所見まとめ

- 一部に粘液産生の亢進と分泌型石灰化を伴う広範な低～中異型度DCISを背景とした粘液癌。

(旧規約では乳頭腺管癌、現規約では乳管内成分優位の粘液癌)

- 4箇所粘液癌が存在

最大浸潤径は0.3cm

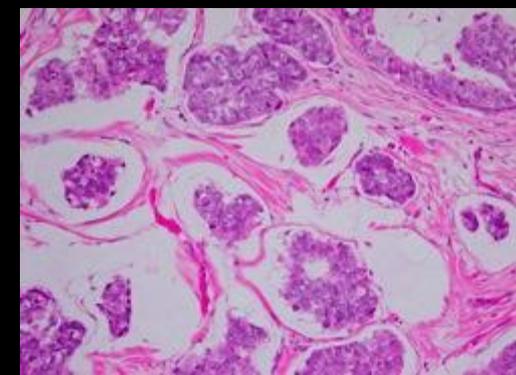
UICC: pT1a, pN0(sn), M0

- ER: 95%, Allred score TS7=PS5+IS2

PgR: 1%未満, Allred score TS3=PS1+IS2

HER2: 陰性(Score 0)

Ki-67 index: 7.5%



術後経過

術後1ヶ月～ TAM内服開始

術後9ヶ月 組織拡張器→インプラントへ
入れ替え術を施行

現在術後3年11ヶ月：転移再発の所見なし